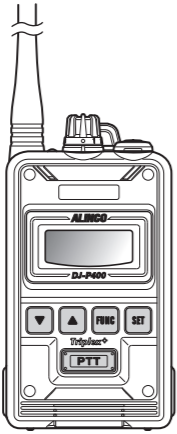


特定小電力ハンディトランシーバー
総務省技術基準適合品
Bluetooth Module XE1126 内蔵

DJ-P400

取扱説明書

注意 本機を正しくお使いいただくためには、別売の電源類（バッテリーパックまたは乾電池ケース）やオプション類（Bluetooth 対応または有線式イヤホン・イヤホンマイク・スピーカーマイク・ヘッドセット）が必要です。詳しくは裏面の「オプション一覧」をお読みください。



アルインコの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機は免許、資格が不要の特定小電力無線機器です。日本国内なら誰でも用途を問わず、各種通信にお使いいただけます。本機の性能を十分に発揮させるために、この取扱説明書を最後までお読みいただくようお願いいたします。アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は必ず保管してください。また補足シートや正誤表などが入っている場合は取扱説明書と合わせて保管してください。

ALINCO アルインコ株式会社 電子事業部

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10番19号 サンエビル4階 TEL.052-212-0541
大阪支店 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコービル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイヤル ☎ 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります
受付時間/10:00～17:00月曜～金曜（祝祭日及び12:00～13:00は除きます）
ホームページ <https://www.alinco.co.jp/> > 事業案内>電子事業部 をご覧ください。
Copyright Alinco,Inc. Printed in Japan

使用上のご注意

別紙の「安全上のご注意」を必ずお読みください。本書に記載していない重要な安全上、使用上の注意点と免責事項についてご説明しています。

■ **ご使用環境**
高温、多湿、直射日光が当たり短時間でも危険温度になるところは避けてご使用ください。

■ **分解しないで**
特定小電力無線機の改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けたりすることは絶対にしないでください。

■ **使用禁止場所**
本機は微弱電波の特定小電力無線装置ですが、無線機器の使用が制限される場所では事前に管理者の許可を得てください。
例：航空機内、空港敷地内、公共交通機関内、医療・高齢者施設など

本機は日本国内専用モデルです。海外では使用できません。
This product is intended for use only in Japan.

■ **通信距離の目安（10mW 2者間同時通話時）**
・河川敷など障害物がない平地：500m 程度 ・市街地：100m 程度
・高い建物や障害物が少ない場所：300m 程度
・建屋内：構造や建材、設置された造作物の有無などで大きく変わります。

注意 トンネルのような閉鎖空間ではUHF電波伝搬の特性により近距離でも通話できないことがあります。

■ **Bluetooth® について**
別売の Bluetooth オプションをお使いになるときは必ずお読みください。
・本機に内蔵している Bluetooth Module（XE1126）は総務省技術適合品です。分解、改造することは法律でかたく禁じられています。
・電子レンジの近くで使うと電磁波の影響で通話できなくなることがあります。妨害を受けたときは電子レンジから離れてください。

■ **Bluetooth 機能による電波干渉について**
本機の Bluetooth 機能を使用するときは、以下についてご注意ください。
Bluetooth に使用される2.4GHz 帯では、電子レンジなどの産業、科学、医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局が運用されています。
・本機の Bluetooth 機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、2.4GHz 帯のアマチュア無線局などが運用されていないことをご確認ください。

・万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、Bluetooth 機能をオフにしてください。

・その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターにご相談ください

■ **本機の Bluetooth 機能の制限について**
別売 Bluetooth 対応アクセサリ（以下 アクセサリ）では、下記の運用はできません。
・コールバック ・受信音ミュート（タッチ / ボイス） ・フリーチャンネルペア接続

■ **2.4GHz 現品表示記号の意味について**
「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備
「FH」：FHSS 方式
「1」：想定干渉距離が10 m以下
「-」：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局アマチュア無線局の帯域を回避不可

2.4FH1

Bluetooth の登録商標 / 著作権について
Bluetooth のワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アルインコ株式会社はこれらのライセンスに基づいて使用しています。なお、本文中ではTM、® などのマークを省略しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写 / 転用することは、禁止されています。

特定小電力の通信制限について

特定小電力無線機の通信に関する制限事項について説明します。

3分制限（3分以上は連続で送信できません）……………

10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。チャンネルを独占させないための機能です。
本機の3・4者間同時通話では、この制限を受けないローパワーに自動で切替えています。2者間同時通話では特定のチャンネルを指定して回避できます。

注意 3分の通信時間制限により自動的に通信が停止したあとは、約2秒間たないと送信できません。

キャリアセンス（受信中は送信できません）……………

一定の強さ以上の信号を受信しているときは「PTT」キーを押しても送信できません。受信中に「PTT」キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。混信や妨害を与えないための機能です。

注意 セットモードの「操作音量」をオフ、または「サウンド」をGdclに設定している場合、アラーム音は鳴りません。

付属品の取付け方

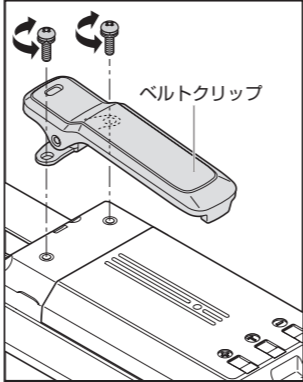
付属品をご確認ください。
 ベルトクリップ（装着済）：EBC-46(ネジ 2本付) 取扱説明書：2枚 保証書

注意 ・保証書ご購入の日付が記載されていないときは領収書やレシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。
本機の保証は、本機と付属品だけに適用されます。
・弊社純正、または弊社が認めたアクセサリ以外をご使用になって起きた不具合は保証期間の有無を問わず有償修理になります。他の無線機メーカー製オプション品が使えるかどうかは検証していません。他社製アクセサリに関する事は、直接その製品のメーカーにお問い合わせください。

ベルトクリップの取付け/取外し……………

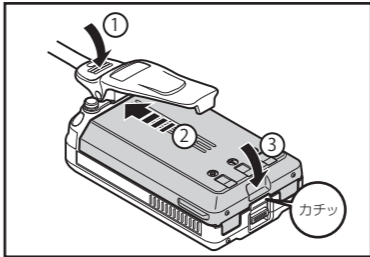
ベルトクリップは取付けた状態で梱包されています。ベルトクリップを外すときはドライバーでネジを反時計方向に回して外してください。（+ドライバー No2 が必要です）定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。
取付け後は本機を体の横や腰などに固定してください。また有線式オプションのケーブルは引っかからないように余分な長さを束ねてください。

注意 標準付属品以外のネジを使うと本機が破損しますので絶対に規格以外のネジは使わないでください。

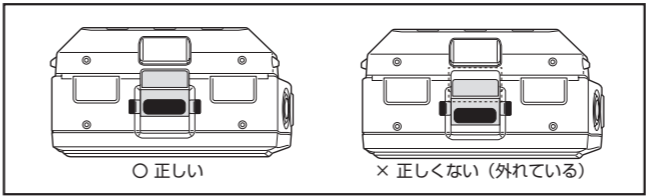


別売 バッテリーパック（以下 バッテリー）の取付け/取外し…

● **バッテリーの取付け方**
①のようにクリップを押してフック部を上げます。バッテリーを図のように本機の背面に当て、②の矢印の方向に、③のロックレバーがカチッと音が鳴るまでしっかりと押しして固定します。下図のようにロックレバー先端がバッテリーをしっかりと固定していることを確認してください。防水仕様のためロックレバーの固定が硬くなっています。正しく装着しないと接触不良で動作せず、バッテリーの落下による故障の可能性があります。

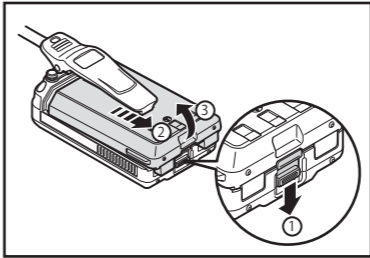


※パッキンにホコリのような異物が付着していると、防水性が低下します。



注意 本機背面の機種名などを記載した銘板の上にある2つの丸い凹みを触ったり、上にラベル類を貼ったりしないでください。防水性を保つのに重要なものです。

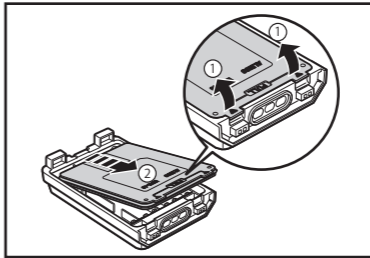
● **バッテリーの取外し方**
ロックレバーを①の方向に押し下げロックを外したら②の方向にバッテリーをスライドさせて、③のように引き抜いて外します。



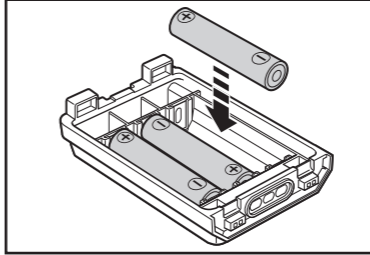
注意 バッテリーをスライドさせる際は、指やツメなどを傷めないよう注意してください。

別売 乾電池ケース（以下 ケース）の使い方……

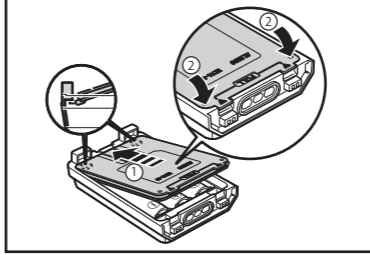
● **カバーの取外し方**
カバー上側①の凸部に指先をかけて開き、矢印②の方向へ引き抜きます。



● **乾電池の取付け方**
市販の単三形アルカリ乾電池3本を図のように⊕⊖の表示に注意して取付けます。ブランド違いや新旧の電池を混ぜて使うと発熱、液漏れなどで故障の原因となります。



● **カバーの取付け方と使い方**
取外した時とは逆にカバーの凸部を①の方向にケース下部に挿しこみ、反対側の先端を②の方向にしっかりと止まるまでゆっくりケースに押し込みます。パッキンがはみださないようご注意ください。パッキンにホコリのような異物が付着していると、防水性が低下します。無線機への取付けと取外しはバッテリーと同じです。



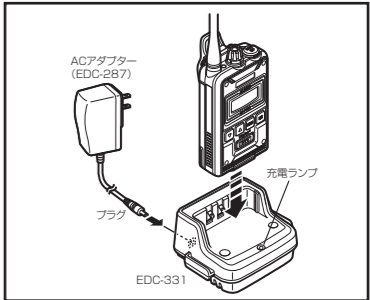
注意 ・リチウム乾電池は絶対に使用しないでください。初期電圧が高く、内部の電子部品を壊す可能性があります。必ず信頼できるブランドのアルカリ単三乾電池3本をお使いください。マンガン乾電池やニッケル水素充電電池の使用は動作保証できません。
・直射日光が当たる場所、空調機や火の近くなど温度が高くなる場所には絶対に放置しないでください。真冬でも閉め切った車内や窓際は日光が当たると危険です。変形、変色のほか液漏れ、発熱、破裂の可能性があります。

別売 充電器

別売オプションの充電器を使用してバッテリーを充電する方法を説明します。

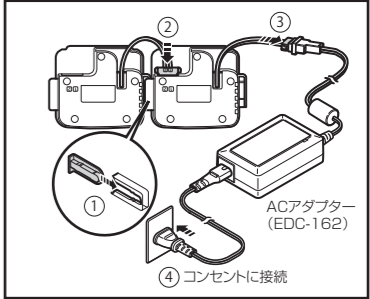
● **シングル充電器**：EDC-331A(ACアダプター EDC-287 付属)
● **シングル連結充電スタンド**：EDC-331R(ACアダプター EDC-162 別売専用)

シングル充電（充電時間：約 3.5 時間）
①付属のACアダプターを充電器背面にある電源端子に接続します。
②ACアダプターをAC100Vコンセントに接続します。
③本機を充電器のポケットに挿入します。充電が始まると充電ランプが赤点灯し、充電が完了すると緑点灯します。
④バッテリー単体でも充電できます。



連結充電（充電時間：約 3.5 時間）
最大 4 台まで充電できます。連結には専用の別売 ACアダプターが必要です。

①充電器の連結ツメ同士をカチッと音が鳴るまでスライドさせて接続します。
②片側の連結プラグを番号の向きに注意しながらカチッと音が鳴るまで接続します。
③別売のACアダプターを充電器の連結プラグに接続します。
④ACアダプターをAC100Vコンセントに接続します。
⑤本機を充電器のポケットに挿入します。充電が始まると充電ランプが赤点灯し、充電が完了すると緑点灯します。
⑥バッテリー単体でも連結充電できます。



注意 ・充電するときは本機の電源を必ず切ってください。電源を入れたまま充電すると正しく満充電が検知できずに、充電ランプが緑点灯しません。またバッテリーにも負担がかかるため、推奨する充電方法ではありません。
・バッテリーをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは満充電してからお使いください。
・別売の充電スタンドと AC アダプターを除く、指定外の製品を接続すると事故や火災の原因となります。絶対におやめください。
・本機および充電器の端子はときどき点検し汚れを取り除いてください。汚れていると接触不良により、正常に充電できないことがあります。

注意 ・温度が+10℃～+40℃の範囲外では、充電ランプが赤緑に交互点灯して充電できない場合があります。バッテリー内蔵の安全装置が動作するため、既定の温度範囲内で充電を再開してください。

バッテリーの使用上の注意

次の注意事項を守らないと、発火や発煙の原因となります。

・季節、温度に関わらずバッテリーを車内や窓際など直射日光が当たる場所やヒーター類の近くなど高温となる場所には絶対に放置しないでください。
・指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、直ちに充電を中止してください。
・バッテリーは消耗品です。充電回数は300 回～ 500 回が目安です。充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱している、膨れたなど異常があると思われたときは、すぐにバッテリーを交換してください。
・劣化したバッテリーは使用しないでください。本機の性能を十分に活用するためにも、3 年を目安、長くても5 年以内に交換してください。
・固い床に落としたり、壁にぶつけたりなどでバッテリーに強い衝撃を与えたときは新品に交換してください。電池内部に小さな傷ができると、それが発火や発煙の原因になります。

注意 ・バッテリーは出荷時には十分に充電されておりません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。
・充電は+10℃～+40℃の温度範囲内で行ってください。
・バッテリーの改造、分解、火中・水中への投入は絶対にしないでください。発熱・破裂などの可能性もあり、大変危険です。
・バッテリーの端子は絶対にショートさせないでください。機器の損傷や、バッテリーの発熱による火傷の原因となることがあります。
・必要以上の長時間の充電（過充電）はバッテリーの性能を低下させますのでおやめください。
・バッテリーの保存は、-10℃～+45℃の温度範囲で湿度が低く乾燥した場所を選んでください。それ以外の温度や極端に湿度の高い所では、バッテリーの液漏れや、金属部分の錆の原因になりますので避けてください。
・バッテリーの長期保管には50%程度の充電状態が推奨されています。長期保管するときもときどき充電して、短時間でも本機を使用するのが無線機・バッテリー両方に最良の保管方法です。
・バッテリーは消耗品です。所定の時間充電しても使用時間が著しく短い場合は寿命がつかしまったものと思われます。新しいものにお取替えください。
・バッテリーはリサイクル資源です。再利用しますので、バッテリー回収協力店へご持参ください。

各部の名前とはたらき

前面部 ※オプション類を接続すると本機側のPTTキーとマイクは自動で無効になります。設定でこの動作を変えることもできます。

ランプ
青色点灯：待受中
緑色点灯：受信
赤色点灯：送信中
青色点滅：減電池

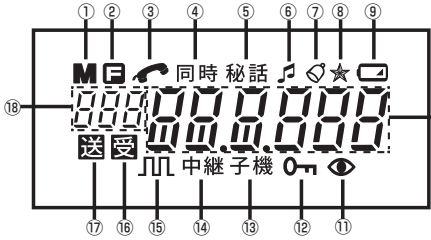
マイク
送信するときに話します。
※ラベルなどでふさがないでください。声を拾わなくなります。

▼(ダウン)キー
降順にチャンネル変更するときに押します。

▲(アップ)キー
昇順にチャンネル変更するときに押します。

PTT(送信)キー
押すと送信します。再度押すと待受けに戻ります。設定を変えるとき押し続ける間だけ送信できます。

ディスプレイ



①	メモリーモード時に点灯します
②	「FUNC」キーを押すと点灯します
③	電話モード時(2者間同時通話/複信中継子機通話)に点灯します
④	同時通話(2〜4者間)モード時に点灯します
⑤	秘話機能設定時に点灯します
⑥	コンパンダー機能設定時に点灯します
⑦	ベル機能設定時に点灯、点滅します

⑧	ノイズキャンセラー設定時に点灯します
⑨	電源電圧が低下(減電池)すると点灯、点滅します
⑩	チャンネルやグループ番号、セットモード項目を表示します
⑪	未使用
⑫	キーロック中に点灯します
⑬	子機として使用する各モード時に点灯します
⑭	複信中継子機時に点灯します
⑮	Bluetoothやペアリング時に点灯、点滅します
⑯	受信中に点灯します
⑰	送信中に点灯します
⑱	通話番号、周波数帯、メモリー番号を表示します

* 未使用：リセットの全点灯時に表示されますが、通常使用では表示されません。

基本操作

ここでは基本的な操作と3・4者間同時通話だけを簡単に説明しています。本書に記載していないセットモードや注意点を含む詳細取扱説明書を下記に掲載しています。

https://www.alinco.co.jp/「製品情報 > 通信技術 > ダウンロード > 特小電力無線機」右図または本機背面のQRコードをスマートフォンで読み取ることで、取扱説明書をダウンロードできます。

■ キー操作

「キーを押す」はしっかり押した後、すぐに放すことを指します。

「キーを長押し」は約2秒間押し続けることを指します。

■ 電源を入れる / 音量を調整する
電源/音量ツマミを時計方向に回すと電源が入り、待受表示します。さらに回すと音量が上がります。初めて場合はツマミの目盛を3程度にしておいて、通話開始時に調整します。電源を切る場合は、ツマミを目盛(●)まで反時計方向に回すと表示が消えます。

■ チャンネルを合わせる

「▼」キーまたは「▲」キーを押してチャンネル(A～H)の内1つを選び、通話したい無線機全てを同じチャンネルに合わせます。Aは多用されるので混信しやすくなります。

アンテナ
アンテナは外れません。柔らかい素材なので多少曲がります。

電源/音量ツマミ
※少しづつ音量を上げて適切な音になるように調整してください。

有線式オプション端子
別売有線式オプションを接続することができます。
※接続するにはしっかりと奥までねじ込んでください。

ディスプレイ

SETキー
個体番号やグループトークの設定/解除ができます。

FUNCキー
長押しでキーロック設定/解除ができます。

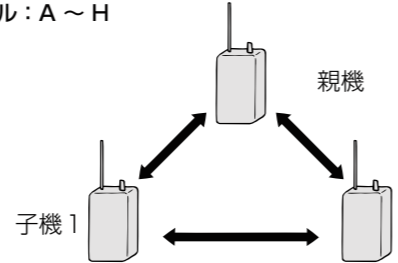
* 通話モードの変更については、弊社HPの詳細説明書をお読みください。

通話モード	チャンネル	通話番号
交互通話	L01～L09、b01～b11(20CH)	1
2者間同時通話	L10～L18、b12～b29(27CH)	2
3者間同時通話(初期値)	A～H(8CH)	3
4者間同時通話	A～H(8CH)	4
複信中継子機通話	L10～L18、b12～b29(27CH)	5
連続交互通話	A～H(8CH)	6
連続2者間同時通話	A～H(8CH)	7
7チャンネル2者間同時通話	L10～L18、b12～b29(27CH)	8
7チャンネル3者間同時通話	A～H(8CH)	9
デュアルオペレーション	L01～L09、b01～b11(20CH)	10

■ 3者間同時通話

初めて本機の電源を入れたときのモードで、3人の同時通話ができます。必ずイヤホンマイクやヘッドセットが必要です。スピーカーマイクはハウリングするため使えません。グループトークについてはあらかじめ最適なものがプリセットされています。初期設定ではタイムアウト制限がない連続送信ができ、PTTホールド、コンパンダーが有効となります。
・3人の位置関係や、4人以上で使用者が入れ替わったり受信だけのユーザーがいる場合に制限があります。詳しくは弊社HPの詳細取扱説明書をお読みください。
・狭い反響空間ではハウリングが起きて使えないことがあります。製品の仕様です。
・トンネルや地下通路のような閉鎖空間では電波伝搬上の理由で通話できないことがあります。
・このモードはユーザーが必ず3人必要です。
・通話中、親機がグループを抜けると、子機1・子機2の通話も途切れます。
・子機1または2がグループを抜けても通話は続きます。
・このモードではコンパンダーを有効(3人全員)のままお使いください。
・親機送信時(受信なし)のみ自動的にコールバックが動作します。

チャンネル：A～H



通話を始めるときは一人ずつ順番に接続します。同時に送信したり、受信しですぐに送信したりすると正しく接続できません。イヤホンとマイクの位置が近すぎたり、受信音やマイク感度を上げすぎているとハウリングします。位置関係や音量を調節してください。

①待受中に、1番目の親機になる人が「PTT」キーを押して送信します。「送」が表示され「子機」が消えます。マイクに向かって話します。
②2番目の子機1は、親機の音声を受信し約2秒ほど待ってから「PTT」キーを押します。通話できると「送 受」「子機」が表示されます。この時親機も「送 受」になります。マイクに向かって話します。
③3番目の子機2も親機と子機1の音声を受信したら、約2秒ほど待ってから「PTT」キーを押します。通話できると「送 受」「子機」が表示されます。マイクに向かって話して3人で通話できることを確認します。

■ 個体番号

あらかじめ3人全員が個体番号を設定して親機、子機1、子機2の関係を固定することもできます。設定後は上記の順番に関係なく送信できます。

①待受中に「SET」キーを1秒以上押すと、個体番号が設定されます。
個体番号：1 親機、2 子機1、3 子機2

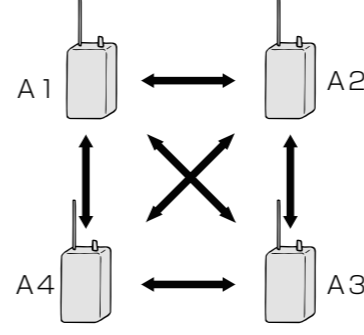
②個体番号を変更する場合は、「FUNC」キーを押し続けたまま、「▼」キーまたは「▲」キーで選択します。

■ 4者間同時通話

4人で同時通話できるモードです。専用の中継器などは不要ですが、使用前に後述の説明にある個体番号の設定が必要です。グループトークについてはあらかじめ最適なものがプリセットされています。初期設定ではタイムアウト制限がない連続送信ができ、PTTホールド、コンパンダーが有効となります。

・5人以上で使用者が入れ替わったり受信だけのユーザーがいる場合に制限があります。詳しくは弊社HPの詳細取扱説明書をお読みください。
・狭い反響空間ではハウリングが起きて使えないことがあります。製品の仕様です。
・トンネルや地下通路のような閉鎖空間では電波伝搬上の理由で通話できないことがあります。
・このモードはユーザーが必ず4人必要です。
・通話中、誰かが一人でも抜けると他の人の通話が途切れます。
・このモードではコンパンダーを有効(4人全員)のままお使いください。詳細説明書に記載のセットモードでコンパンダーをオフにすると音質が悪化します。

チャンネル：A～H(個体番号設定)



①「FUNC」キーを押し、そのまま素早く「▼」キーまたは「▲」キーを押して個別番号A1、A2、A3、A4をそれぞれ割り当てます。誤ってキーロックした場合は、「FUNC」キーだけを長押しして解除してからやり直します。

②通話を始めるときは一人ずつPTTを押します。押す順番は任意ですが、複数の人が同時にボタンを押すと正しく設定できません。「受」が表示されたら次の人が「PTT」キーを押す、を繰り返して全員に「送」「受」アイコンが表示され、4人で通話できることを確認します。イヤホンとマイクの位置が近すぎたり、受信音やマイク感度を上げすぎてハウリングしたら、位置関係や音量を調節してください。使用者同士が近すぎる、遠すぎる、直列に並び、などで通話が途切れても、位置関係が戻れば自動復帰します。

③通話を終わるときは全員が再度「PTT」キーを押し「送」「受」を消します。同時に「PTT」キーを押しても構いません。次からは②以降の「PTT」キー操作だけを行います。

■ Bluetooth 機能

本機のBluetooth 機能に対応するアクセサリーを使って通話ができます。
・Bluetooth の通信範囲は約10m(目安)です。
・登録台数は最大で8台です。8台を超えるとペアリング情報が古いものから自動で削除されます。
・アクセサリーの音量は本機のツマミでも調整できます。
・Bluetooth 方式と有線式オプション(イヤホンマイクなど)を併用すると、両方から音声ができます。どちらかの音声を消す設定はありません。

※Bluetooth 機能を使用するには、Bluetooth 対応のイヤホンやヘッドセットが必要です。Bluetooth 対応のイヤホンやヘッドセットは、必ずBluetooth 機能を使用するモードに設定してください。

1. 本機をペアリングモードにする

①「FUNC」キーを押しながら「SET」キーを押し、セットモードに入ります。
②「SET」キーを押すと次項目に、「FUNC」キーを押すと前項目に移ります。
③セットモード27の「bLtl」を「▲」キーを押して「on」にします。その後「PTT」キーで確定します。待受画面に「L」アイコンが点滅しランプが赤緑交互点灯します。※2台目以降ペアリングする場合、④をお読みください。
④上記③の後に一度電源を切り、ランプが赤緑交互点灯するまで「▼」キーと「SET」キーを同時に押し続けながら電源を入れます。

2. アクセサリーをペアリングモードにする

操作の前にアクセサリーの取扱説明書もお読みください。

①ランプが橙色に点灯後、緑点滅するまで「電源」キーを長押しします。
②「ペアリング中です」と音声が開聞こえたら「電源」キーを放します。
※弊社製のアクセサリーを初めてご使用になるときは電源を入れるだけで、ペアリングモードになります。またペアリングできる無線機が見つからない状態が5分つづくと、自動的にアクセサリーの電源が切れます。

3. 本機とアクセサリーをペアリングする

上記の操作で本機とアクセサリーが共にペアリングモードになると自動で接続します。接続できたら「L」アイコンが点灯します。

注意
・アクセサリーの音量は本機の電源/音量ツマミでも調整できます。適切な音量に合わせてください。
・本機の音量が極端に小さい、または極端に大きい場合、アクセサリーの音量では適切に調整できなくなるため、ご注意ください。
・受信中に受信音の大きさが変化することがあります。一定のピーブ音や強い信号を受信すると、強弱を一定レベルにして聞きやすくするためです。
・一度ペアリングしたアクセサリーとはそれ以降毎回ペアリングする必要はありません。
・複数台同時接続はできません。また他社製のアクセサリーはペアリングできません。

■ キーロック(誤操作防止)

誤操作を防ぐため、設定が終わったら待受状態ですぐの操作をしてください。簡易：「FUNC」キーを長押しします。「LoC-1」が点滅後「0m」が点灯します。通常：「FUNC」+「SET」キーを同時に押します。「LoC-2」が点滅後「0m」が点灯します。いずれも同じ操作で解除できます。「通常」のほうが解除されにくいです。

■ リセット(初期化)

電源を切り「FUNC」キー押したまま電源を入れます。ディスプレイが全点灯し基本機能(通話モード、チャンネル、ペアリングなど)がリセットされます。また電源を切り「▼」キー、「▲」キー、「FUNC」キーを同時に押したまま電源を入れると拡張機能も含めて工場出荷状態にリセットされます。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない	バッテリーを取付けていない	バッテリーを正しく取付けてください
	バッテリーが消耗している	充電するか新しい電池に交換してください
音が出ない	音量が出ない	オプション類を正しく接続してください
	相手とチャンネルが違う	同じチャンネルにしてください
受信できない	相手と距離が離れている	通信距離を目安に送信してください
	電波を受信している	電波がなくなってから送信してください
送信できない	3分通信制限を超過している	PTTキーを放して2秒経過後に送信してください
	端子が汚れている	端子の汚れをふき取ってください
充電できない	充電池が劣化している	新しい充電池に交換してください

* 充電池の残りが少ないとまれに誤動作することがあります。充電してください。本機を分解すると技術基準適合から外れ、それを使うと不法無線局となり処罰されます。メンテナンスや修理は販売店が弊社サービスセンターにご相談ください。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後も5年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

オプション一覧

EBP-114	リチウムイオンバッテリー	EME-32A	イヤホンマイク	カナル型
EDH-46	乾電池ケース(単三形アルカリ3本)	EME-48A	イヤホンマイク	耳かけ型
EDC-331A	シングル充電器(ACアダプター付属)	EME-62A	咽喉イヤホンマイク	カナル型
EDC-331R	シングル連結充電スタンド	EME-63A	ヘルメット用ヘッドセット	
EDC-287	ACアダプター(シングル保守用)	EME-64A	ヘッドセット	
EDC-162	ACアダプター(連結充電用)	EMS-71	防水スピーカーマイク	
EME-58	ストレートコードイヤホン	EME-80BMA	Bluetoothイヤホンマイク	
EME-60	ツイストコードイヤホン	EMS-87B	Bluetooth防水スピーカーマイク	
		EHC-40	ハードケース	

* ベルトクリップはスベア部品をご用意しています。販売店にご相談ください。
* 同時通話時にはイヤホンマイクかイヤホンが必要です。スピーカーマイクは使用できません。

※Bluetooth 機能を使用するには、Bluetooth 対応のイヤホンやヘッドセットが必要です。Bluetooth 対応のイヤホンやヘッドセットは、必ずBluetooth 機能を使用するモードに設定してください。

定格

送受信周波数	Lチャンネル	421.8125～421.9125MHz		
		422.2000～422.3000MHz		
	bチャンネル	440.2625～440.3625MHz		
		421.5750～421.7875MHz		
		422.0500～422.1750MHz		
		440.0250～440.2375MHz		
制御チャンネル	421.8000MHz、422.1875MHz、440.2500MHz			
電波形式	F3E(FM)、F1D(FSK)			
送信出力	10mW、1mW			
受信感度	-14dBu(12dB SINAD)			
音声出力	80mW以上(8Ω負荷)			
通信方式	単信、半復信、複信			
電源電圧	リチウムイオンバッテリー 3.6V/3120mAh(別売 EBP-114)	単三形アルカリ乾電池 4.5V(別売 EDH-46)		
消費電流	送信時：約 90mA(10mW時)、約 75mA(1mW時)	待受時：約 85mA		
	バッテリーセーブ時：約 28mA			
動作温度範囲	-10℃～+50℃(充電：+10℃～+40℃)			
寸法	幅 56.5mm × 高さ 258.9mm × 奥行 31.0mm(突起物含む)			
重さ	約186g(EBP-114 装着時)			
	約222g(EDH-46 装着時 単三形アルカリ乾電池含む)			
使用時間の目安	リチウムイオンバッテリー	単三形アルカリ乾電池		
	交互通話	約 85時間	交互通話	約 74時間
	2者間同時通話	約 19時間	2者間同時通話	約 15時間
	3・4者間同時通話	約 14時間	3・4者間同時通話	約 10時間

・仕様、定格は予告なく変更する場合があります。本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。本書の内容を無断転載することは禁止されています。乱丁、落丁はお取り替えいたします。

三和システムサービス株式会社

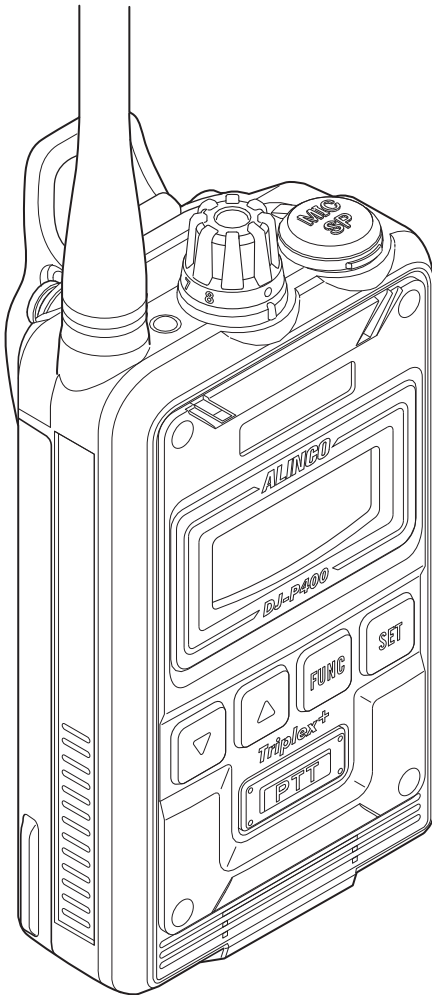
〒120-0054 東京都葛飾区新大塚4-47-17 6階 03-6321-1111

TEL 040-653-2311 FAX 040-653-2317

特定小電力ハンディトランシーバー
総務省技術基準適合品
Bluetooth Module XE1126 内蔵

DJ-P400

詳細取扱説明書



注意 本機を正しくお使いいただくためには別売の電源類（バッテリーパックまたは乾電池ケース）やオプション類（Bluetooth 対応または有線式イヤホン・イヤホンマイク・スピーカーマイク・ヘッドセット）が必要です。詳しくは付属取扱説明書の「オプション一覧」をお読みください。

アルインコの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機は免許、資格が不要の特定小電力無線機器です。日本国内なら誰でも用途を問わず、各種通信にお使いいただけます。
本機の性能を十分に発揮させるために、付属取扱説明書と合わせて最後までお読みいただくようお願いいたします。

1 基本操作	3
2 通信方法	5
通話モードの切替え	5
通話モード一覧	5
3 便利な機能	21
メモリーモード	21
キーロック	22
イヤホン断線検知	23
スキャン	23
ノイズキャンセラー	23
ACSH (アクシュ)	24
エアクローン	26
Bluetooth機能	27
リセット	29
4 セットモード	30
セットモード一覧	30
通話モード別機能表	31
セットモード基本操作	33
セットモード項目	34
5 イヤホンユーザー	48

重要 必ずお読みください。

- ・ここでは製品同梱の取扱説明書で記載しきれなかった通話モードやセットモードなどの内容を中心に詳しく説明します。反対に製品付属の取扱説明書で説明した別売品の使い方、電源のオンオフ、チャンネルの合わせ方などはここでは省略していません。必ず製品付属の取扱説明書と合わせてお読みください。

- ・本製品はスピーカーを内蔵していません。使用にはイヤホン、又はイヤホンマイク類の別売アクセサリが必要ですが、スピーカーマイクは同時通話時ハウリングが起るため同時通話に特化した本機にはお勧めしません。

(交互通話時はお使いになれます)

- ・また以下の場合にはスピーカーマイクでなくてもハウリングが起る可能性があります。

狭い反響空間または閉鎖空間で使用する。

本機とマイクの位置関係が近すぎる。

受信音量を大きくしている。

マイク感度を大きくしている。

ハウリングが起きたら設置場所を見直すことや、受信音量・マイク音量を調整してみてください。

1

基本操作

■ 各部と名前のはたらき

前面部 ※オプション類を接続すると本機側のPTTキーとマイクは自動で無効になります。後述のセットモード (P.30) で選べるオプションPTT設定でこの動作を変えることもできます。

ランプ

青色点灯：待受中
緑色点灯：受信
赤色点灯：送信中
青色点滅：減電池

マイク

送信するときに話します。
※ラベルなどでふさがなくてください。声を拾わなくなります。

▼(ダウン)キー

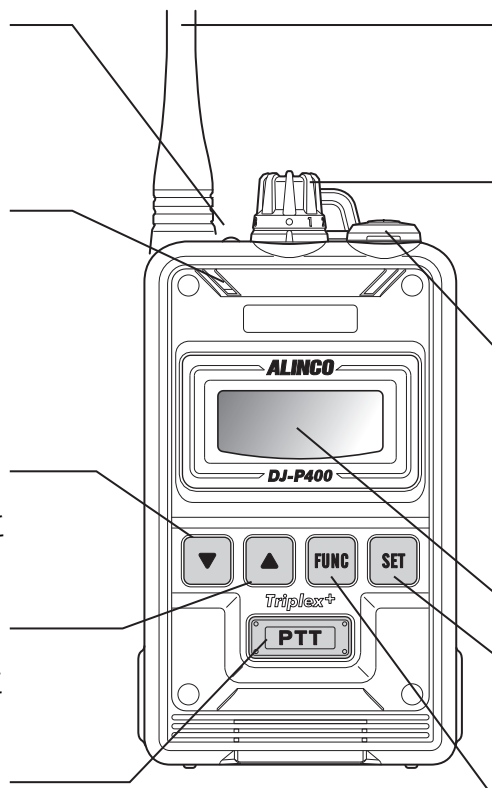
降順にチャンネル変更するときに押します。

▲(アップ)キー

昇順にチャンネル変更するときに押します。

PTT(送信)キー

押すと送信します。再度押すと待受けに戻ります。設定を変えると押し続けている間だけ送信できます。



アンテナ

アンテナは外れません。柔らかい素材なので多少曲がります。

電源/音量ツマミ

※少しずつ音量を上げて適切な音になるように調整してください。

有線式オプション端子

別売有線式オプションを接続することができます。
※接続するにはしっかりと奥までねじ込んでください。

ディスプレイ

SETキー

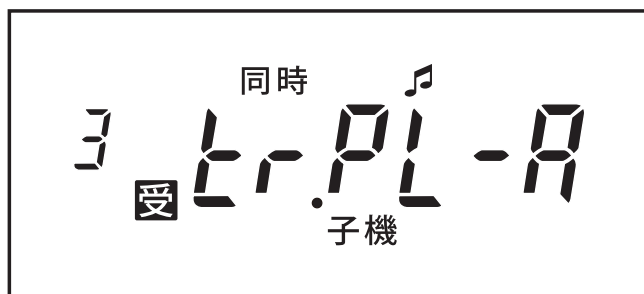
個体番号やグループトークの設定/解除ができます。

FUNCキー

長押しでキーロック設定/解除ができます。

■ 受信する

信号を受信すると、受信した信号レベルに応じてディスプレイに「受」が表示され、受信条件を満たしているとき音声が聞こえるようになります。本機には受信終了時に聞こえる「ザッ」音を低減するテールノイズキャンセラーを採用しています。本機能を採用した弊社製の無線機との通話に対応しています。



重要 下記のような、インバーター内蔵の電気製品は受信障害の原因になることがあります。
*LED 照明 *IH 式調理器具 *ソーラー発電装置 *DC-AC インバーターなどの車載機器

■ 送信する

同時通話では「PTTホールド」(P.36)が自動的に設定されます。「PTT」キーを押し、ディスプレイに「送」が表示されたらマイクに向かって話します。マイクと口は5cmほど離してください。送信解除する際は再度「PTT」キーを1秒以上長押しすると待受に戻ります。



- 重要**
- ・ オプション類を接続すると、本機側のPTTキーとマイクは自動で無効になります。後述のセットモード「オプションPTT設定」(P.30, P.33, P.45)でこの動作を変更することができます。
 - ・ 送信解除の条件は、後述のセットモード「PTTホールド」(P.30, P.33, P.36)で変更することができます。
 - ・ マイクに向かって話すとき、声が大きすぎたり口元が近すぎたりすると、送信音が歪み(ひずみ)ますのでご注意ください。

■ コールトーン

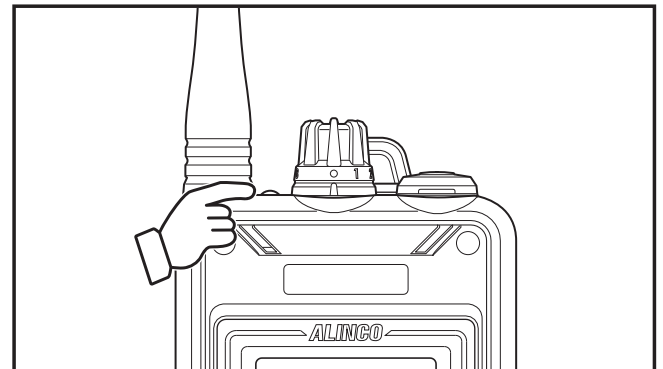
送信中に「▼」キーまたは「▲」キーを押すと、受信側でも音色の異なる呼出音が鳴り相手の注意を引くことができます。

■ ランプ

ランプは本機上部にあります。基本的なランプの色は以下3色となります。

- ・ 待受：青色点灯
- ・ 受信：緑色点灯
- ・ 送信：赤色点灯

後述の説明では通信に関わるランプの色は一部省略します。ランプの色は部品の個体差から、色が異なって見えることがありますが、異常ではありません。



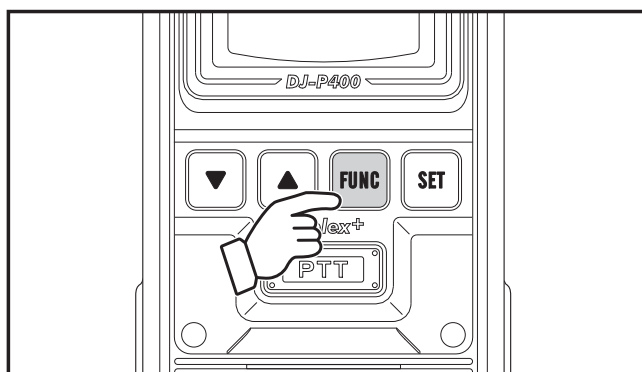
2 通信方法

..... 通話モードの切替え

工場出荷状態ではモード3の3者間同時通話に設定されています。通話モードの切替えについて説明します。

① [FUNC] キーを押す

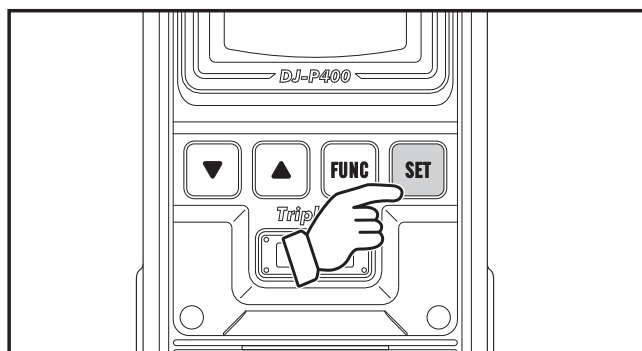
「FUNC」キーを押すと左側にメモリー番号が点滅します。



② [SET] キーを押す

通話番号が点滅するので使用するモードの番号を「▼/▲」キーで選択し「PTT」キーを押して確定します。

設定が終わったら、電源ツマミのダイヤルが時計方向に適度に回され、音量調整が正しくできていることを確認してください。



..... 通話モード一覧

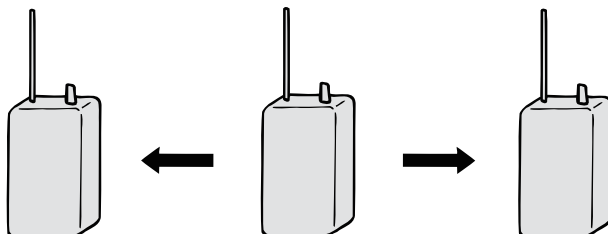
工場出荷状態ではモード3の3者間同時通話に設定されています。

通話モード	チャンネル	通話番号
交互通話	L01 ~ L09、b01 ~ b11 (20CH)	1
2者間同時通話	L10 ~ L18、b12 ~ b29 (27CH)	2
3者間同時通話 (初期値)	A ~ H (8CH)	3
4者間同時通話	A ~ H (8CH)	4
複信中継子機	L10 ~ L18、b12 ~ b29 (27CH)	5
連続交互通話	A ~ H (8CH)	6
連続2者間同時通話	A ~ H (8CH)	7
7チャンネル2者間同時通話	L10 ~ L18、b12 ~ b29 (27CH)	8
7チャンネル3者間同時通話	A ~ H (8CH)	9
デュアルオペレーション	L01 ~ L09、b01 ~ b11 (20CH)	10

■ 交互通話（通話番号 1）

一人が話す音声を残り全員が受信します。話し終わったら任意の人が応答します。電波が届くところにいる人は人数に制限なく通話できます。無線機で一番基本の通話で、大勢でてきぱきと連絡を取り合うのに最適です。

チャンネル：L01～L09、b01～b11



- ① 「PTT」キーを押し続けます。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。最適な受信音声になるよう音量や口とマイクの距離、向きを調節します。
- ② 話し終わったら「PTT」キーを放します。マークが消え、待受に戻ります。



□ グループトーク機能

交互通話・2者間同時通話・デュアルオペレーション専用の機能です。他のグループの混信が聞こえず、一部のノイズを消す効果もあるので使用をお勧めする機能です。01と50番は多用されているので別の番号を選ぶ方が効果的です。他社製や長年お使いの個体が混じるときは相性による通話不良を避けるため、02～36番からお選びください。全員の無線機に同じ番号を設定します。



● 交互通話

- ① 待受で「SET」キーを押すとグループ番号を表示します。
- ② グループ番号の変更は「FUNC」キーを押しながら素早く「▼」キーまたは「▲」キー押しで操作します。

● 2者間同時通話

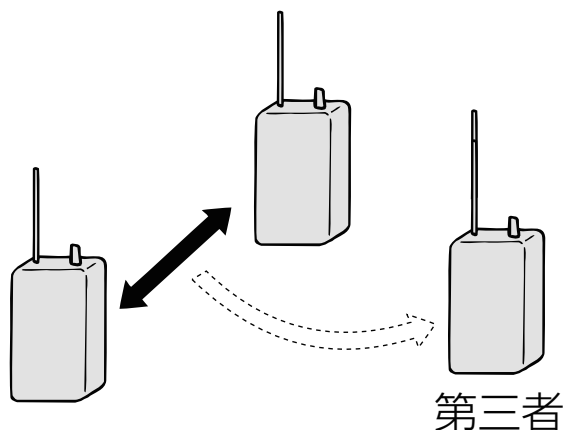
この通話モードでは自動的にグループ番号が表示されます。グループトーク機能をオフにすることはできません。グループ番号の変更は交互通話と同じです。

注意 他人の声を聞かなくて済むだけで、混信除去や秘話機能ではありません。同じチャンネルでグループ機能を使っていない人には通話は全て受信されます。

■ 2者間同時通話（通話番号 2）

電話のように2人だけで通話できるモードです。あらかじめグループトーク機能が設定されています。基本的には1対1の通話ですが、後述のセットモード「音声ループ」（P.30, P.33, P.34）を設定することで第三者も通話を聞くことができます。また通話には「PTT」（初期値）と「電話」タイプがあります。初期設定では「PTTホールド」（P.36）が有効となります。

チャンネル：L10～L18、b12～b29



● PTTタイプ

- ① 待受で1人目が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ② 音声受信を確認した2人目も「PTT」キーを押して送信します。2人とも「送受」が表示されお互いに通話確認します。



● 電話タイプ

電話のように呼出/応答の手順で通話します。お互い電話タイプに設定してください。

- ① 「FUNC」キーを押します。続けて「SET」キーを押して通話番号を点滅させます。その後「SET」キーを長押しすると電話マークが表示します。
- ② 待受で1人目が「PTT」キーを押します。10秒間呼出音が鳴ります。
- ③ 呼出音を確認した2人目も「PTT」キーを押して送信します。お互いに通話確認します。



参考

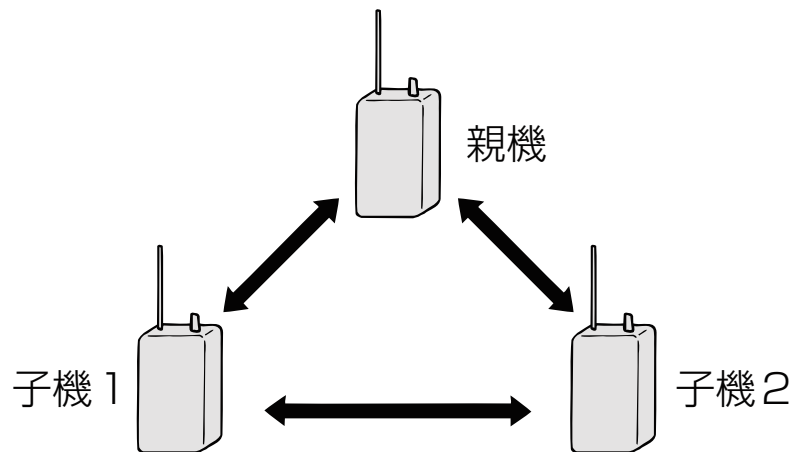
- ・通話中に第三者が割り込むことはできません。
- ・初期設定はLチャンネルが3分に一度2秒タイムアウト、bチャンネルはタイムアウト制限がない連続通話ができます。
- ・電話タイプでは呼出/応答の手順のため、初期設定ではLチャンネルの3分が通信制限となりその後自動的に通話が終了します。再度通話するには「PTT」キー操作で呼出/応答の手順で通話してください。

■ 3者間同時通話（通話番号 3）

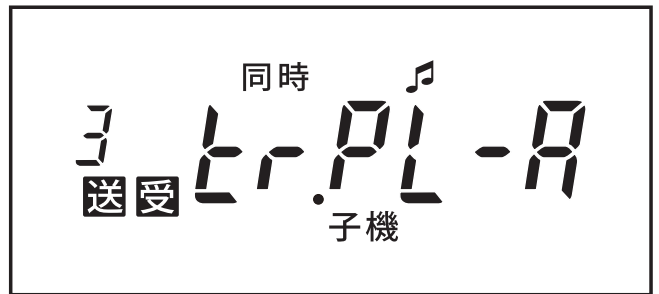
初めて本機の電源を入れたときのモードで、3人の同時通話ができます。グループトークについてはあらかじめ最適なものがプリセットされています。初期設定ではタイムアウト制限がない連続送信ができ、PTTホールド（P.36）、コンパnder（P.34）が有効となります。親機、子機1、子機2の順に通話確認しながら操作します。

- ・ 3人の位置関係や、4人以上で使用者が入れ替わったり受信だけのユーザーがいる場合に制限があります。必ず次ページのイラストを参照してください。
- ・ 狭い反響空間ではハウリングが起きて使えないことがあります。製品の仕様です。
- ・ トンネルや地下通路のような閉鎖空間では電波伝搬上の理由で通話できないことがあります。
- ・ このモードはユーザーが必ず3人必要です。
- ・ 通話中、親機がグループを抜けると、子機1・子機2の通話も途切れます。
- ・ 子機1または2がグループを抜けても通話は続きます。
- ・ このモードではコンパnderを有効（3人全員）のままお使いください。
- ・ 親機送信時（受信なし）のみ自動的にコールバック（P.37）が動作します。

チャンネル：A～H



- ① 待受で親機（1人目）が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。通信成立後、子機表示が消えます。
- ② 音声受信を確認した子機1（2人目）も「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ③ 音声受信を確認した子機2（3人目）も「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。お互いに通話確認します。

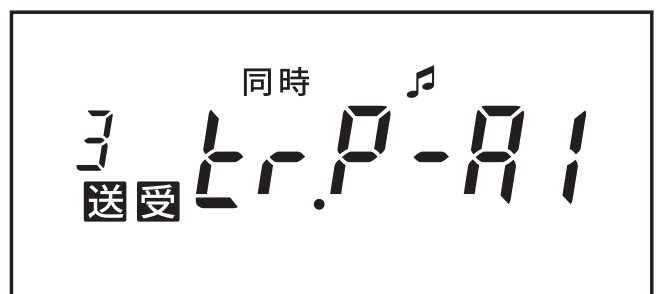


*全員に「送受」が表示され、親機から「子機」表示が消えたら通話成立

● 個体番号

あらかじめ3人全員が個体番号を設定して親機、子機1、子機2の関係を固定することもできます。設定後は上記の順番に関係なく送信できます。

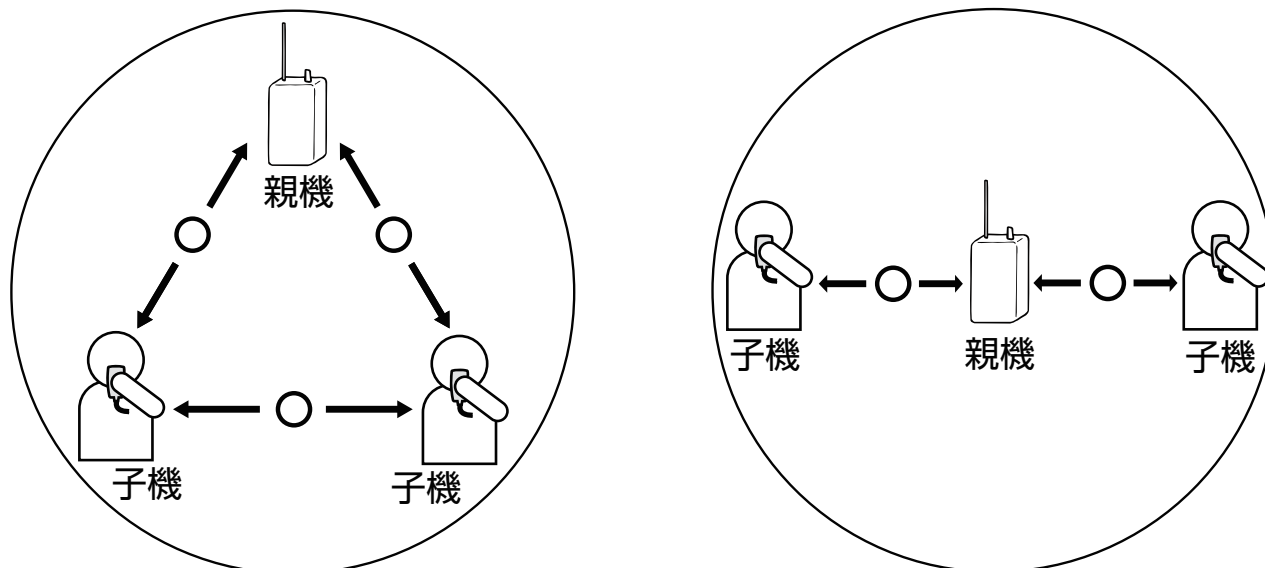
- ① 待受で「SET」キーを1秒以上押して放すと個体番号を表示します。
個体番号：1（親機）2（子機1）3（子機2）
- ② 個体番号の変更は「FUNC」キーを押しながら素早く「▼」キーまたは「▲」キー押しで操作します。



注意 それぞれで送信するタイミングが重なる場合、正しく通信できない場合があります。全員が待受状態から続けて2秒以上待ってから、それぞれタイミングをずらして送信してください。

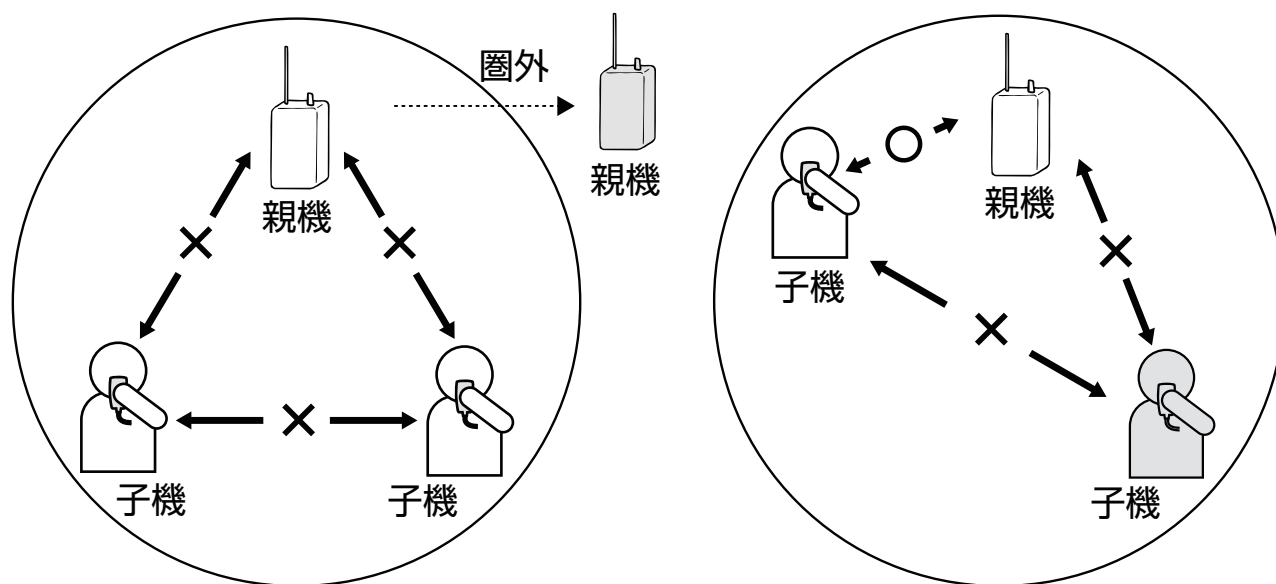
● **正しい位置関係**

お互いに10m以上の間隔で離れて通信エリア（円）の内側で通話します。移動するときもお互いの間隔をとることを心がけます。



● **通信できなくなる位置関係**

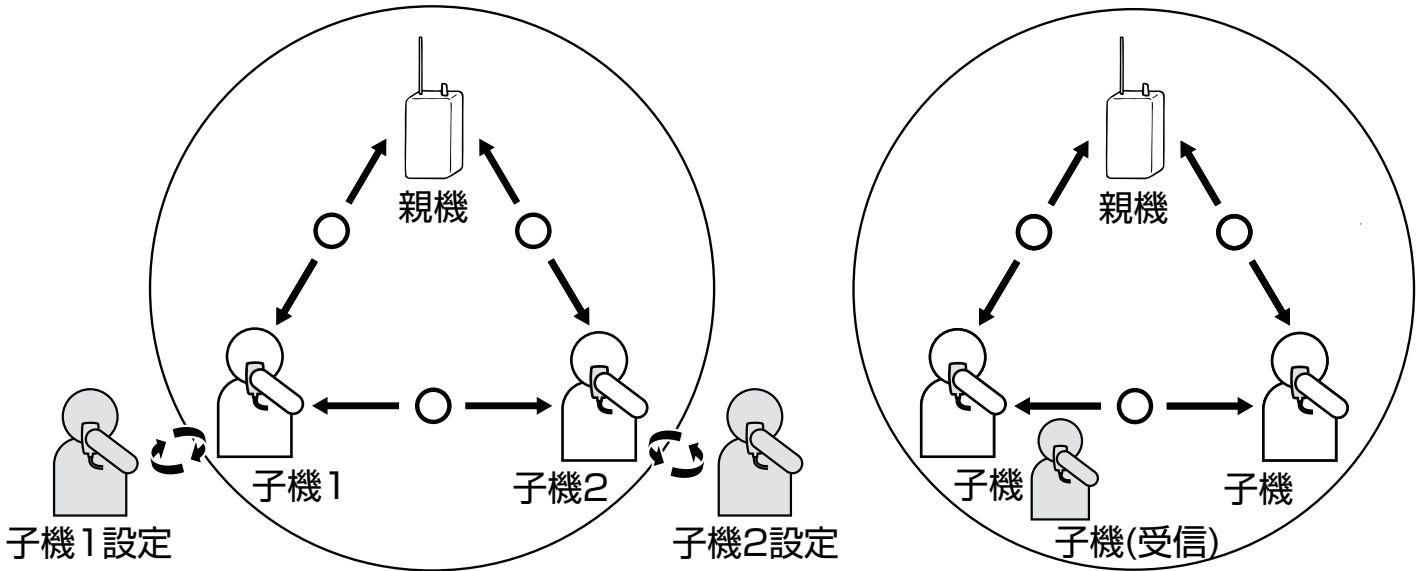
親機が通話エリアから外れたり、電源を切ると全員が通話できなくなります。親機または子機が極端に他の人に近づくと、通話が途切れやすくなります。



● 4名以上のグループで使用者が入れ替わる / 受信のみのユーザー

同じ設定をした子機は入れ替わることができます。通信が成立しているときに子機1は「PTT」キーを約1秒間長押しして待受にします。次に子機1設定の「PTT」キーを押して送信します。それぞれで通話できるか確認します。子機2についても同様です。

受信のみであれば、通話エリア内でチャンネルを合わせれば人数に関係なく通話が聞こえます。

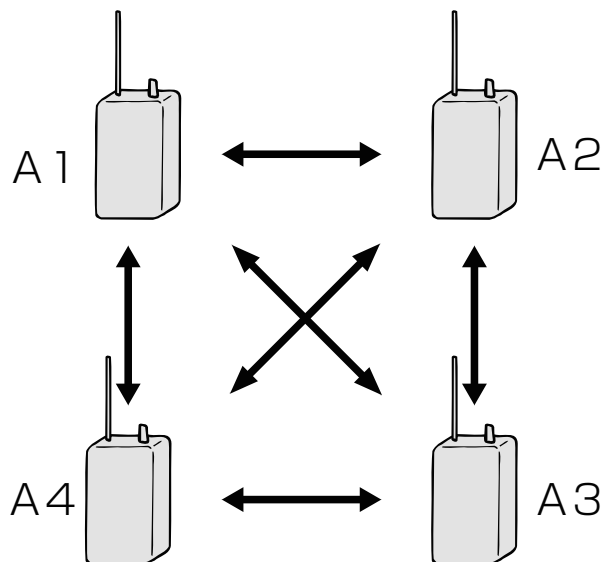


■ 4者間同時通話（通話番号 4）

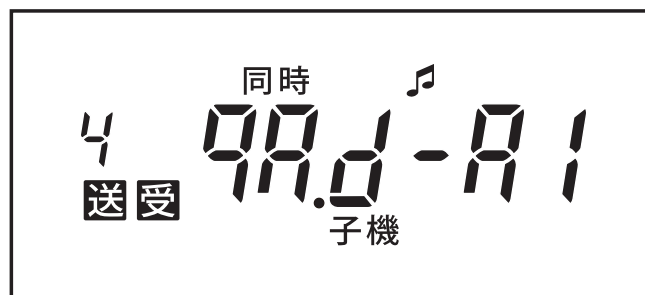
4人で同時通話できるモードです。専用の中継器などは不要ですが、使用前に後述の説明にある個体番号の設定が必要となります。グループトークについてはあらかじめ最適なものがプリセットされています。初期設定ではタイムアウト制限がない連続送信ができ、PTTホールド (P.36)、コンパnder (P.34) が有効となります。

- ・5人以上で使用者が入れ替わったり受信だけのユーザーがいる場合に制限があります。必ず次ページのイラストを参照してください。
- ・狭い反響空間ではハウリングが起きて使えないことがあります。製品の仕様です。
- ・トンネルや地下通路のような閉鎖空間では電波伝搬上の理由で通話できないことがあります。
- ・このモードはユーザーが必ず4人必要です。
- ・通話中、誰かが一人でも抜けると他の人の通話が途切れます。
- ・このモードではコンパnderを有効（4人全員）のままお使いください。

チャンネル：A～H



- ① 個体番号の変更は「FUCN」キーを押しながら素早く「▼」キーまたは「▲」キー押しで操作します。
- ② 待受で1人目（A1）が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ③ 待受で2人目（A2）が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ④ 待受で3人目（A3）が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ⑤ 待受で4人目（A4）が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。お互いに通話確認します。



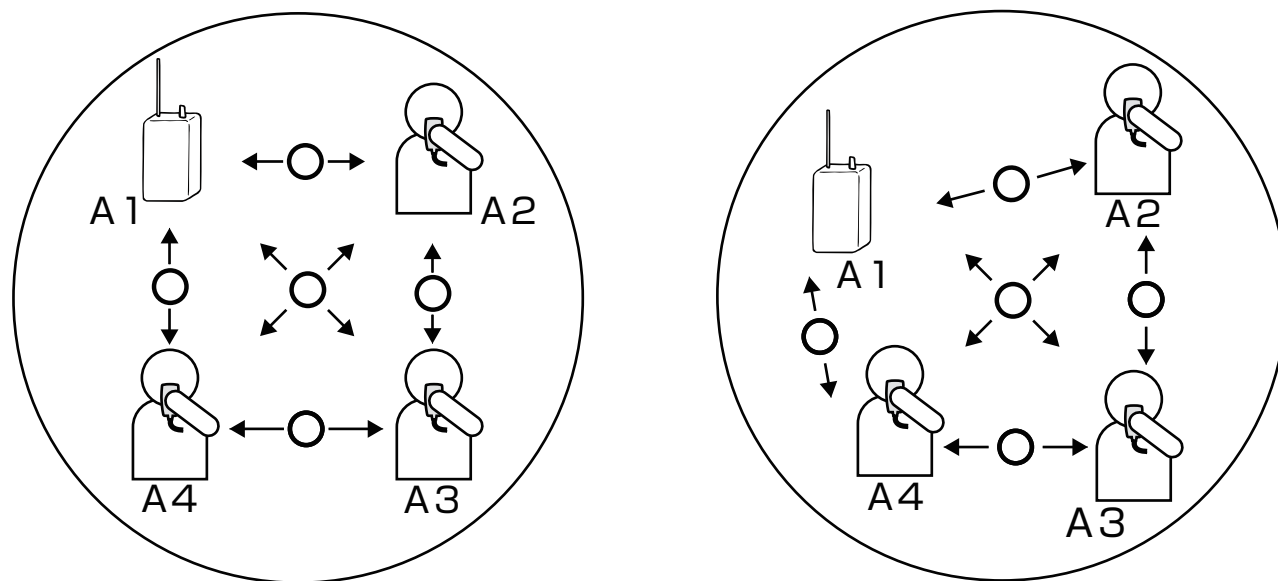
*4者間同時通話の「qAd」表記はクアドラプル（quadruple）の略です

注意 それぞれで送信するタイミングが重なる場合、正しく通信できない場合があります。全員が待受状態から続けて2秒以上待ってから、それぞれタイミングをずらして送信してください。

● 正しい位置関係

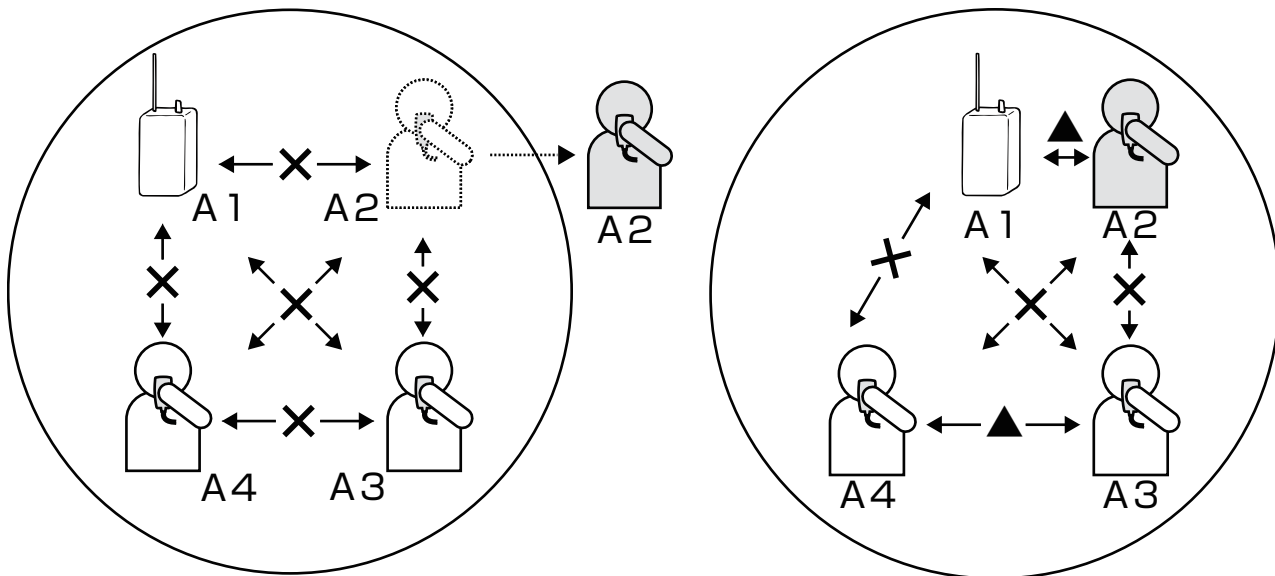
お互いに10m以上の間隔で離れて通信エリア（円）の内側で通話します。

移動するときもお互いの間隔をとることを心がけます。また通話エリア内であっても線状には並ばないでください。



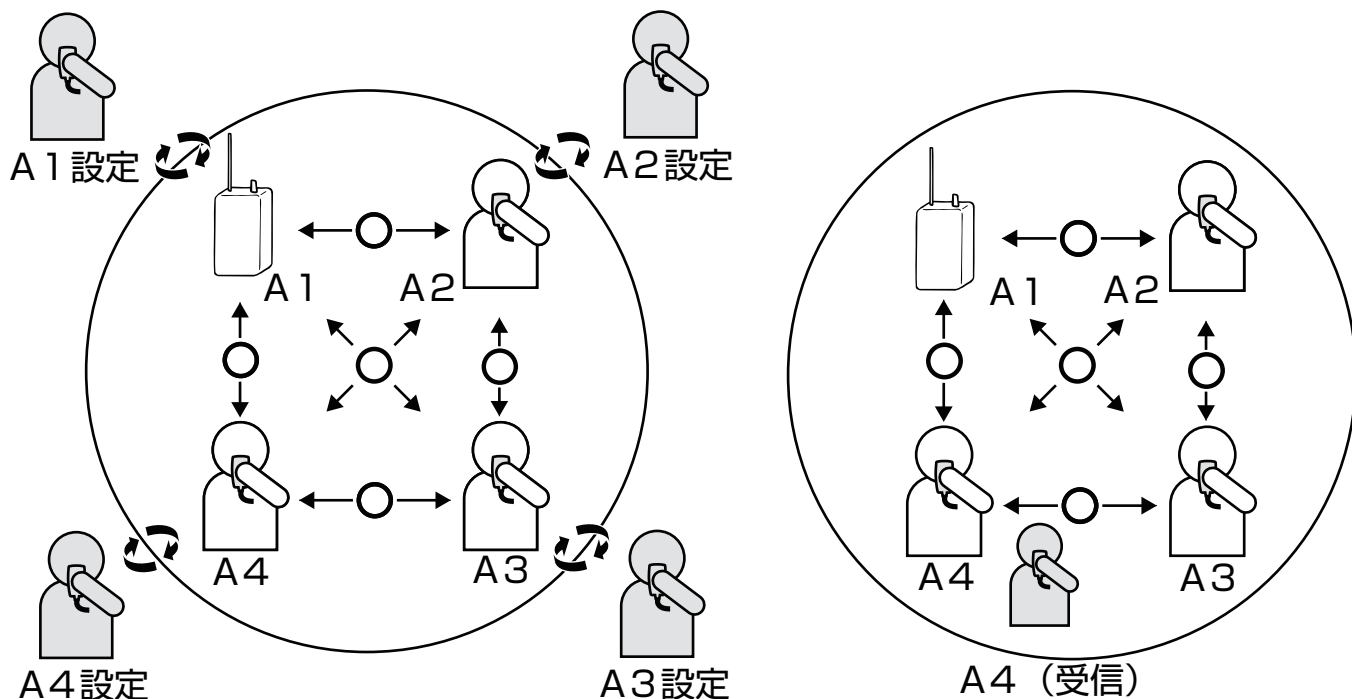
● 通信できなくなる位置関係

1人でも通話エリアから抜けるか電源をオフにすると、全員の通話ができなくなります。
 1人が極端に近づく場合、例えばA1がA2に近づくるとA3、A4との通話ができなくなります。
 またA1-A2間とA3-A4間の受信音声小さくなります。



● 5名以上のグループで使用者が入れ替わる / 受信のみのユーザー

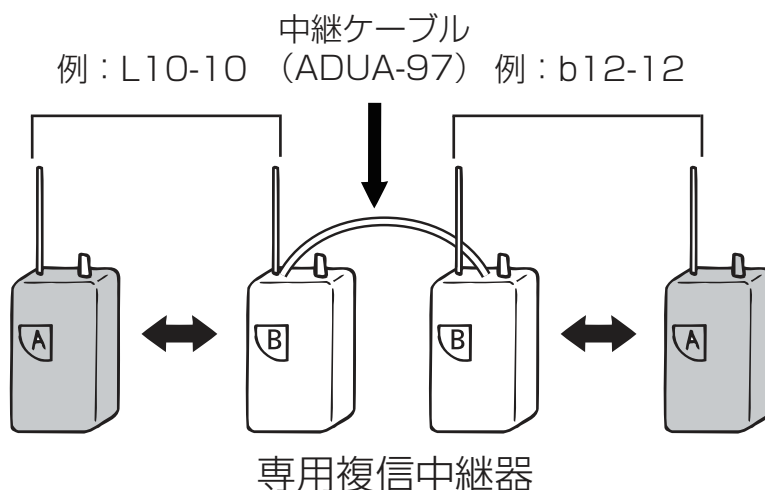
同じ設定をした子機は入れ替わることができます。通信が成立しているときにA4は「PTT」キーを約1秒間長押しして待受にします。次にA4設定の「PTT」キーを押して送信します。それぞれで通話できるか確認します。A1~A3についても同様です。受信のみであれば、通話エリア内でチャンネルを合わせれば人数に関係なく通話が聞こえます。



■ 複信中継子機通話（通話番号 5）

直接では電波が届かない相手と中継器を介して同時通話するモードです。後述のセットモード「音声ループ」（P.30, P.33, P.34）を設定することで第三者も通話を聞くことができます。また通話には「PTT」（初期値）と「電話」タイプがあります。初期設定ではPTTホールド（P.36）が有効となります。このモードで通話するには必ず専用複信中継器が必要です。

チャンネル：L10～L18、b12～b29



● PTTタイプ

交互通話のようにお互いの「PTT」キーを押して送信する通話です。専用中継器 B 帯として説明します。

- ① 待受で1人目が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ② 音声受信を確認した2人目も「PTT」キーを押して送信します。お互いに通話確認します。



● 電話タイプ

電話のように呼出/応答の手順で通話します。お互い電話タイプに設定してください。

- ① 「FUNC」キーを押します。続けて「SET」キーを押して通話番号を点滅させます。その後「SET」キーを長押しすると電話マークが表示します。
- ② 待受で1人目が「PTT」キーを押します。10秒間呼出音が鳴ります。
- ③ 呼出音を確認した2人目も「PTT」キーを押して送信します。お互いに通話確認します。



参考

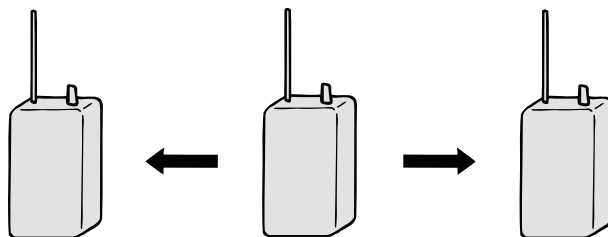
- ・周波数をB帯に変更する場合、通話番号を点滅させた後「FUNC」キーを長押ししてください。
- ・通話中に第三者が割り込むことはできません。
- ・初期設定はLチャンネルが3分に一度2秒タイムアウト、bチャンネルはタイムアウト制限がない連続通話ができます。
- ・電話タイプでは呼出/応答の手順のため、初期設定ではLチャンネルの3分が通信制限となりその後自動的に通話が終了します。再度通話するには「PTT」キー操作で呼出/応答の手順で通話してください。

■ 連続交互通話（通話番号 6）

チャンネルがA～Hあり各チャンネルに、二つの周波数がプリセットされています。連続通話時に、自動的にもう一方の周波数に切り替えて送信休止時間（2秒）を短縮するモードです。通常は同じチャンネルで連続送信をすると3分ごとに2秒間送信を中断しますが、本モードでは、時間前に自動的に周波数を切り替えることで通話を継続します。もう一方の周波数が使用されていないことを確認するため、3分ごとに約0.5秒間通話が中断します。切替えた側の周波数が使用されている場合は、連続送信ができません。

本モードは電波法や標準規格を順守した上での疑似的なものであり、対応する弊社製の機器間でのみ有効です。グループトーク機能はあらかじめ最適なものがプリセットされています。

チャンネル：A～H



- ① 「PTT」キーを押し続けます。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。最適な受信音声になるよう音量や口とマイクの距離、向きを調節します。
- ② 話し終わったら「PTT」キーを放します。マークが消え、待受に戻ります。



参考 初期設定はタイムアウト制限がありますが、送信出力を Lo にすることで制限がない連続通話ができます。

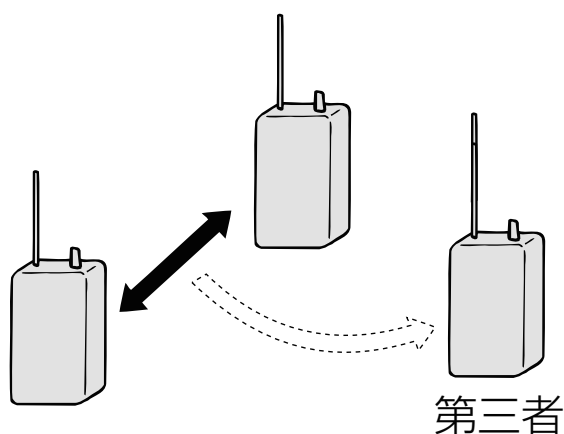
■ 連続2者間同時通話（通話番号 7）

チャンネルがA～Hあり各チャンネルに、二つの周波数がプリセットされています。連続通話時に、自動的にもう一方の周波数に切り替えて送信休止時間（2秒）を短縮するモードです。通常は同じチャンネルで連続送信をすると3分ごとに2秒間送信を中断しますが、本モードでは、時間前に自動的に周波数を切り替えることで通話を継続します。もう一方の周波数が使用されていないことを確認するため、3分ごとに約0.5秒間通話が中断します。

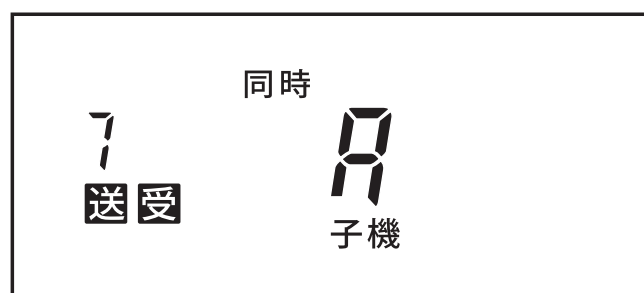
切替えた側の周波数が使用されている場合は、連続送信ができません。

本モードは電波法や標準規格を順守した上での疑似的なものであり、対応する弊社製の機器間でのみ有効です。グループトーク機能はあらかじめ最適なものがプリセットされています。基本的には1対1の通話ですが、後述のセットモード「音声ループ」（P.30, P.33, P.34）を設定することで第三者も通話を聞くことができます。初期設定ではPTTホールド（P.36）が有効となります。

チャンネル：A～H



- ① 待受で1人目が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ② 音声受信を確認した2人目も「PTT」キーを押して送信します。お互いに通話確認します。



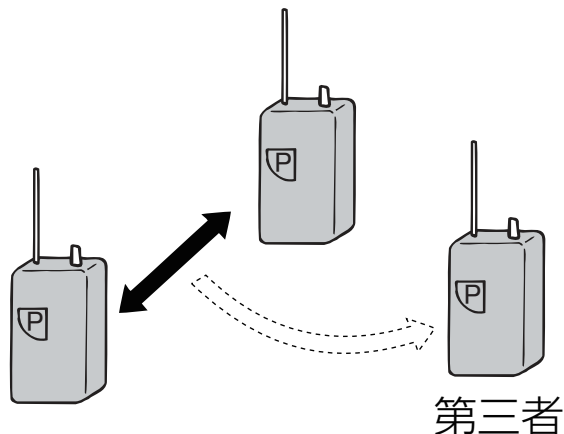
参考

- ・通話中に第三者が割り込むことはできません。
- ・初期設定はタイムアウト制限がありますが、送信出力を Lo にすることで制限がない連続通話ができます。

■ フリーチャンネル2者間同時通話（通話番号 8）

あらかじめペア接続した2台が自動的に空きチャンネルを探し同時通話するモードです。お使いになる前にペア接続してください。一度接続しておけば以降はチャンネル設定や変更の手間が省けます。グループトーク機能は接続時に最適なものがプリセットされています。基本的には1対1の通話ですが、後述のセットモード「音声ループ」(P.30, P.33, P.34)を設定することで第三者も通話を聞くことができます。初期設定ではPTTホールド(P.36)が有効となります。「送信出力」(P.36)を送信・受信側で同じ設定にしてください。

チャンネル：L10～L18、b12～b29（自動選択）



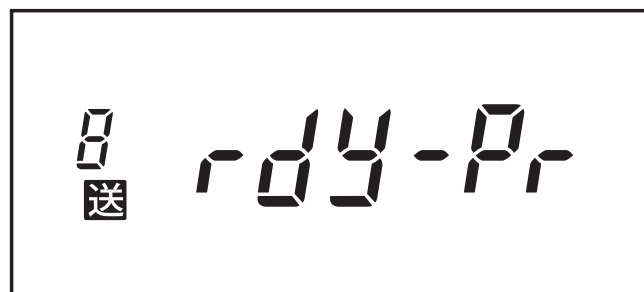
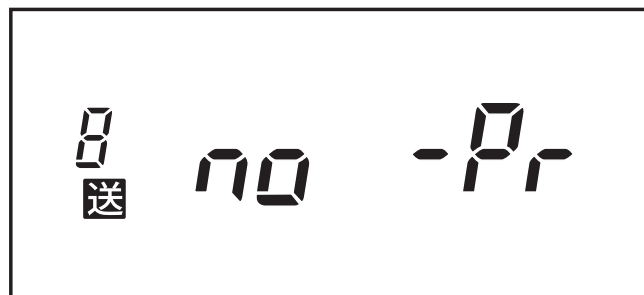
● ペア接続

ペア接続されていないと「no - Pr」と表示されます。この状態で次の手順をすることでペア接続できます。

- ① 待受で1人目が「PTT」キーを約2秒間押し続けます。送信マークが表示された後に「rdy - Pr」が表示され準備状態になります。
- ② 受信を確認した2人目も準備状態から「PTT」キーを約2秒間押し続けて送信します。
- ③ 通信が成立すると「now - Pr」と表示されて接続が開始され、完了すると自動的に再起動します。再起動後「SCn ○○」が表示されます。

ペア番号は00～99までが自動的に割り当てられます。接続が完了するとお互いの機器に同じペア番号が表示されます。

注意 ペアは1組のみ設定ができ、2組以上は設定できません。



● 通信方法

- ① 待受で1人目が「PTT」キーを押します。
空きチャンネルを見つけると送信マークが表示されるので、マイクに向かって話します。
- ② 音声受信を確認した2人目も「PTT」キーを押して送信します。お互いに通話確認します。



参考

- ・通話の開始と応答はチャンネルをスキャンして空きチャンネルを探しているため、通常の通話より通話開始時の頭切れ時間が長くなります。
- ・通話中に第三者が割り込むことはできません。
- ・送信出力の設定でスキャン範囲やパワーを変更できます。

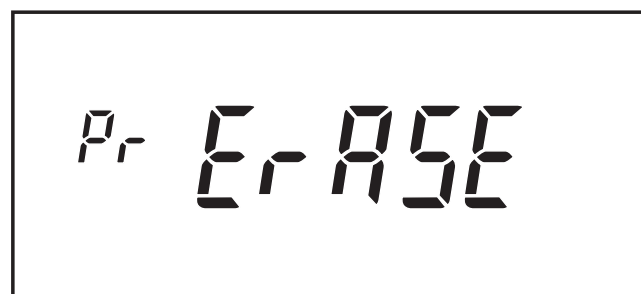
設定値	スキャン範囲	送信出力
Pow-At	L10 ~ L18, b12 ~ b29 (27CH)	10mW
Pow-Hi	L10 ~ L18 (9 CH)	10mW
Pow-Lo	b12 ~ b29 (18CH)	1mW

* ペア接続後の初期化については、下記をお読みください。

● ペア番号初期化

ペア番号を変更したい場合、以下の手順で初期化してください。初期化後は再度ペア接続してください。

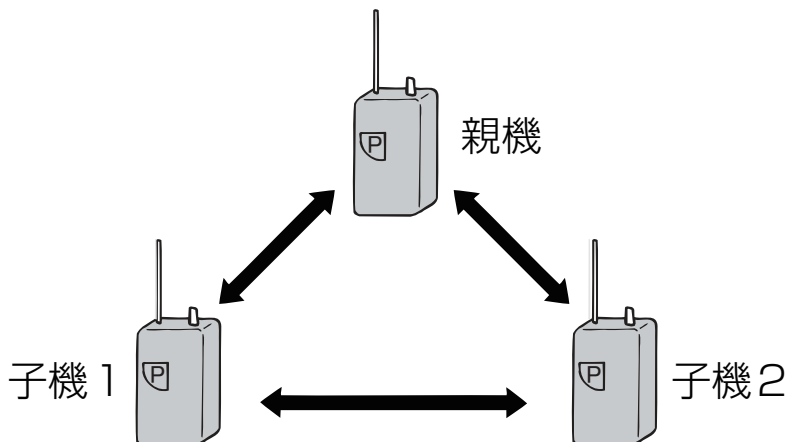
- ① 「FUNC」キーを押します。続けて「SET」キーを押して通話番号を点滅させます。その後「FUNC」キーを長押しすると初期化します。「Pr Erase」が表示され再起動します。



■ フリーチャンネル3者間同時通話（通話番号 9）

あらかじめペア接続をした3台が自動的に空きチャンネルを探し同時通話するモードです。お使いになる前にペア接続してください。一度接続しておけば以降はチャンネル設定や変更の手間が省けます。グループトーク機能は接続時に最適なものがプリセットされています。通信条件や通信範囲については通常の3者間同時通話と同じです。初期設定ではPTTホールド（P.36）、コンパnder（P.34）が有効となります。

チャンネル：A～H（自動選択）



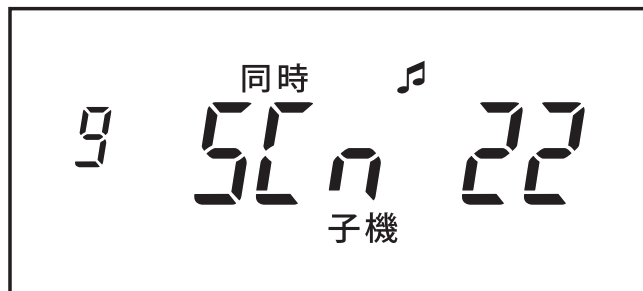
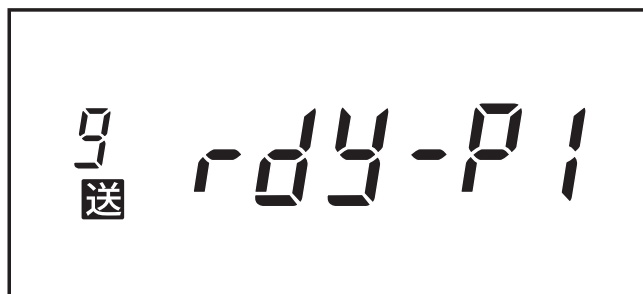
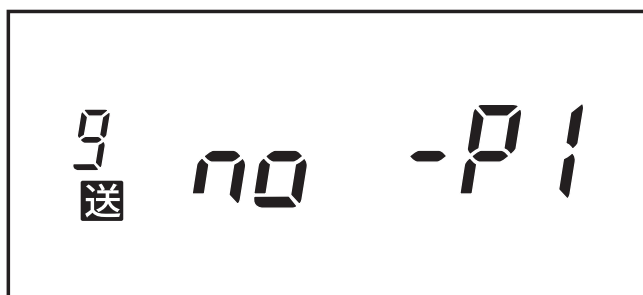
● ペア接続

ペア接続されていないと「no - P1」と表示されます。この状態で次の手順をすることでペア接続できます。

- ① 待受で「▼」キーまたは「▲」キーを押して接続番号を設定します。
接続番号：1（親機）、2（子機1）、3（子機2）
- ② 接続番号（1 / 2 / 3）を設定後、親機の「PTT」キーを約2秒間押し続けます。
送信マークが表示された後に「rdy - P1」準備状態になります。
- ③ 受信を確認した子機1、子機2は自動的に「rdy - P2」「rdy - P3」が表示され準備状態になります。
- ④ 通信が成立すると親機、子機ともに「now - P*」接続が開始され、完了すると自動的に再起動します。再起動後、「SCn ○○」が表示されます。

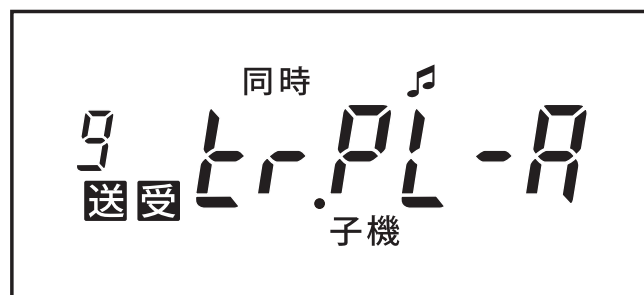
ペア番号は00～25までが自動的に割り当てられます。ペアリングが完了するとお互いの機器に同じペア番号が表示されます。

注意 ペア接続は3台・1組でおこなってください。2組以上で接続すると正しく接続できません。



● 通信方法

- ① 待受で親機（1人目）が「PTT」キーを押します。空きチャンネルを見つけると送信マークが表示されるので、マイクに向かって話します。通信成立後、子機表示が消えます。
- ② 音声受信を確認した子機1（2人目）も「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
- ③ 音声受信を確認した子機2（3人目）も「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。お互いに通話確認します。



参考

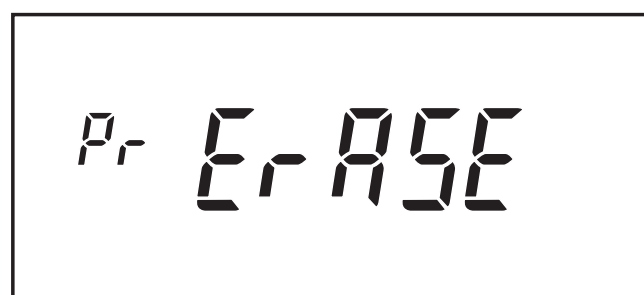
- ・通話の開始と応答はチャンネルをスキャンして空きチャンネルを探しているため、通常の通話より通話開始時の頭切れ時間が長くなります。
- ・通話中に第三者が割り込むことはできません。

* ペア接続後の初期化については、下記をお読みください。

● ペア番号初期化

ペア番号を変更したい場合、以下の手順で初期化してください。初期化後は再度ペア接続してください。

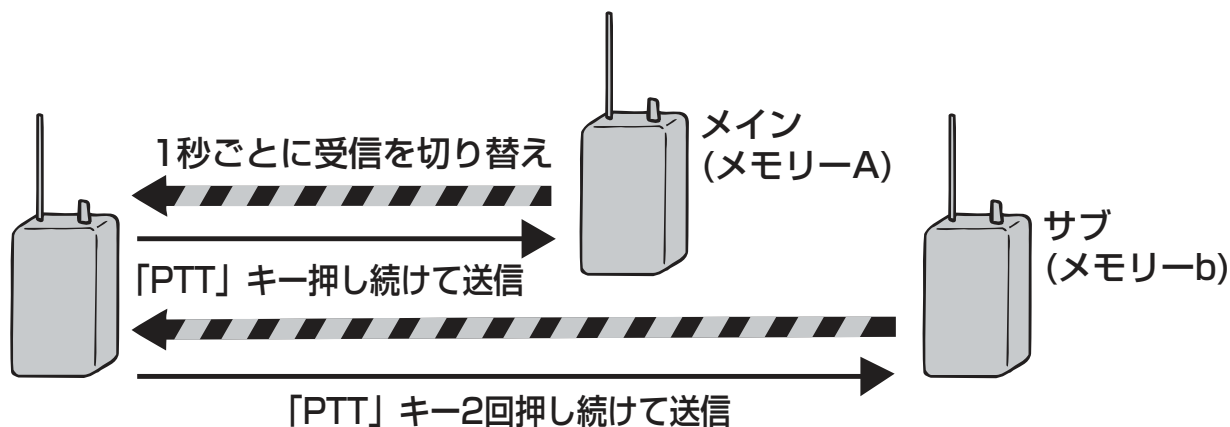
- ① 「FUNC」キーを押します。続けて「SET」キーを押して通話番号を点滅させます。その後「FUNC」キーを長押しすると初期化します。「Pr Erase」が表示され再起動します。



■ デュアルオペレーション (通話番号 10)

あらかじめメモリー登録したメイン/サブの2つのチャンネルを交互に受信し、そのどちらとも通話できるモードです。使用前にメモリーA/bの登録が必要です。登録できる通話モードは交互通話(通話番号1)です。登録方法については、次ページのメモリーモードをお読みください。

チャンネル：L01～L09、b01～b11 (登録)



● 送信 (M:メイン/S:サブ)

M 「PTT」キーを押し続けます。送信マークとmainが表示されたらマイクに向かって話します。

S 「PTT」キーを2回続けて押し続けます。送信マークとsubが表示されたらマイクに向かって話します。

話し終わったら「PTT」キーを放します。マークが消え、待受に戻ります。話し終わって約5秒間はメイン側を保持します。

その後1秒間隔でメイン/サブを切替えます。

● 受信 (M:メイン/S:サブ)

M 受信するとmainが表示され「ピッ」音が鳴ります。

S 受信するとsubが表示され「ピピッ」音が鳴ります。



- ・ main/subが表示された後は続けて登録チャンネルが表示されます。
- ・ 受信を交互に切替える仕様上、バッテリーセーブが強制的にオフになりバッテリー消費が大きくなります。

3

便利な機能

..... メモリーモード

あらかじめ登録しておいたチャンネルを呼び出して通信するモードです。登録数は、0～9、A、bの12個です。（A、bは交互通話専用です）A、bに登録した内容はデュアルオペレーションで使用します。またメモリーモード中はセットモード（P.30）の設定変更ができません。

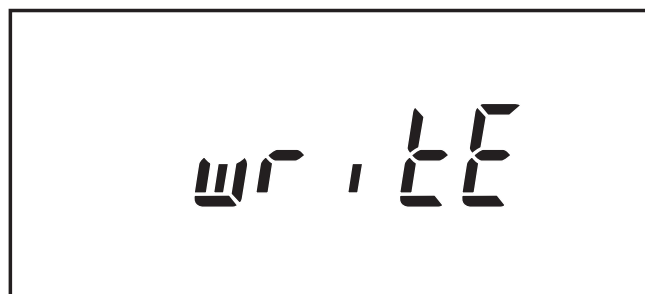
● メモリー登録

- ① 登録する通話モード、チャンネルを選択します。
- ② 待受で「FUNC」キーを押すとメモリー番号が点滅します。
- ③ 続けて「▼」キーまたは「▲」キーで登録する番号を選択します。
- ③ 選択後「SET」キーを約2秒間長押ししてメモリー登録します。正常に登録されるとwriteが表示されます。



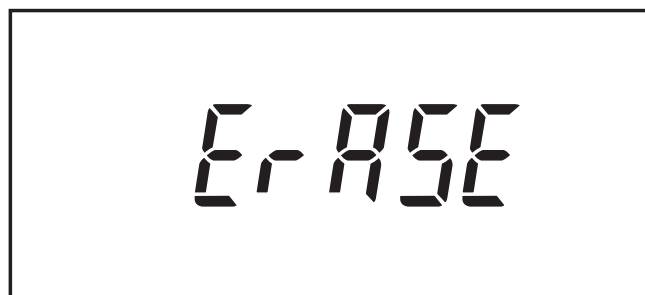
● メモリーモード

- ① 待受で「SET」キーを約2秒間長押しするとメモリー番号が点灯しメモリーモードになります。
- ② 複数登録していると「▼」キーまたは「▲」キーで登録したメモリー番号を切替えます。
- ③ メモリーモードを解除する場合、「SET」キーを約2秒間長押しします。



● メモリー消去

- ① 待受で「FUNC」キーを押すとメモリー番号が点灯します。
- ② 続けて「FUNC」キーを約2秒間長押ししてメモリー削除します。正常に削除されるとEraseが表示されます。



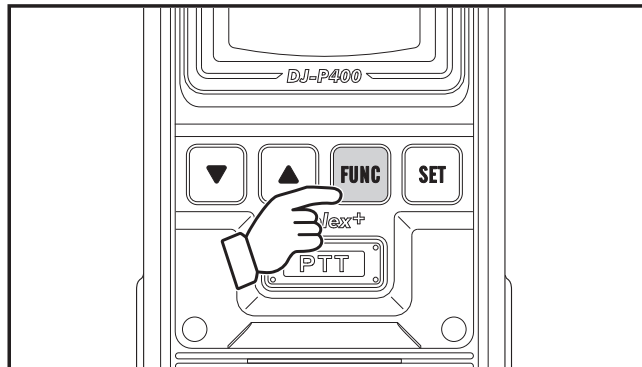
参考

- ・すでにメモリー登録されているとメモリー番号が点灯します。（Mは点滅）
- ・メモリー登録は上書き仕様となります。
- ・メモリーモード中に「SET」キーを押すと約2秒間通話モードが表示します。後述のセットモード「メモリー表示」（P.30, P.33, P.39）でこの動作を変更することができます。

..... キーロック

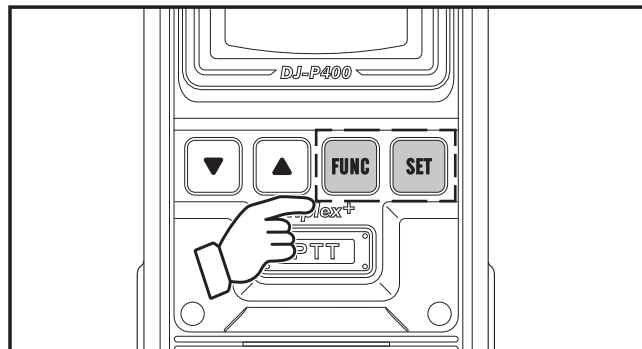
■ 簡易キーロック

待受で「FUNC」キーを長押しします。
「Loc - 1」が点滅後「**0**」が点灯します。
同じ操作で解除できます。



■ 通常キーロック

待受で「FUNC」キーと「SET」キーを同時に長押しします。「Loc - 2」が点滅後「**0**」が点灯します。同じ操作で解除できます。

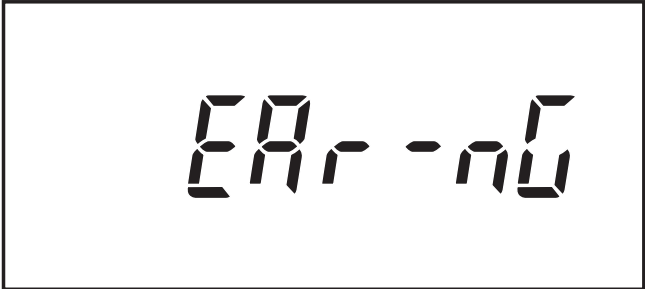


参考

キーロック中でも「電源/音量ツマミ」や「PTT」キー操作はできます。

イヤホン断線検知

別売のイヤホンマイクなどを接続して電源を入れた時に、イヤホンが断線していないか自動で検知します。断線を検知すると約10秒間ディスプレイ点滅表示と早い周期でランプが赤緑交互点灯します。初期設定ではオンです。後述のセットモード (P.40) でこの動作を切替えることができます。



スキャン

自動的にチャンネルを切替えて通話しているチャンネルを探索する機能です。交互通話専用で通常モードとメモリーモード両方で使用できます。

● 開始

待受で「▼」キーと「▲」キーを同時に約2秒間長押しするとスキャンを開始します。受信した信号でチャンネルが止まりますが、信号がなくなると約2秒後に自動的に再開します。スキャン実行中は各種モードに入れません。

● 停止

スキャン実行中に開始の操作または、「PTT」キーを押すとスキャンを停止します。



参考

- ・受信を切替える仕様上、バッテリーセーブが強制的にオフになりバッテリー消費が大きくなります。
- ・スキャン中に電源を切り、再度起動するとスキャン開始から始まります。

ノイズキャンセラー

マイクに向かって話した音声以外のノイズを除去して音声の明瞭度を上げる機能です。初期設定では動作がオフです。後述のセットモード (P.41) でこの動作を切替えることができます。

注意

- ・音声の周波数を通過させ、それ以外は除去するタイプのノイズキャンセラーです。
- ・本機能をオンにすると、音声は若干変化します。音楽やチャイムは正しい音に聞こえません。
- ・突発的な物音などはノイズキャンセルできません。
- ・音声周波数をフィルターする原理上、騒音が多い場所では送受信音声小さくなったり、少ない場所では歪んだり、ハウリングが発生したりすることがあります。そのようなときはオフにしてお使いください。

..... ACSH (アクシュ)

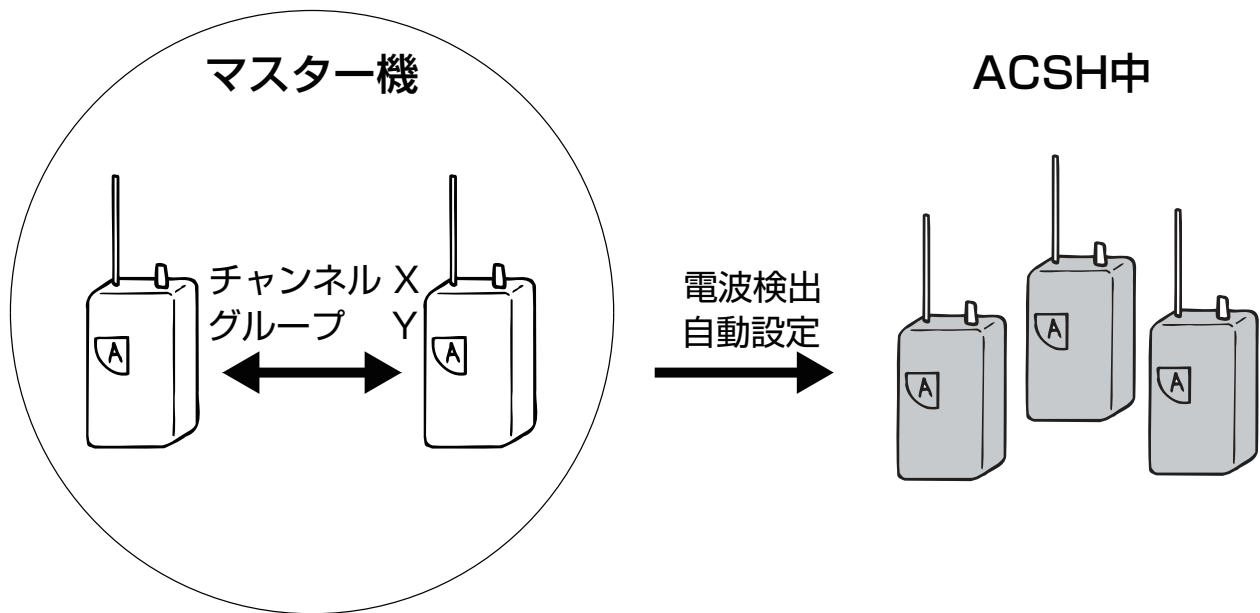
すでに使用している無線機（交互通話は他社製も含む）のチャンネルとグループ番号をスキャンして、本機に同じ内容を自動設定する機能です。交互通話・2者間同時通話・3者間同時通話に対応しており、あらかじめ通話モードを設定したマスター機と本機が必要です。2・3者間同時通話時は弊社製品のみに対応します。マスター機は2者間同時通話の場合は、発呼者、3者間同時通話の場合は、親機のものを使用してください。本機能で設定する際は、Bluetoothアクセサリが使用できません。

*フリーチャンネル2者/3者間同時通話（P.16, P.18）のマスター機を使用されると正常に設定できません。

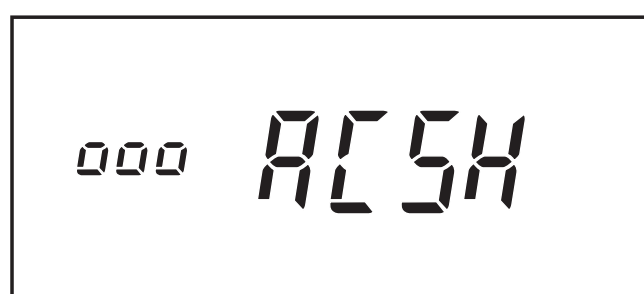
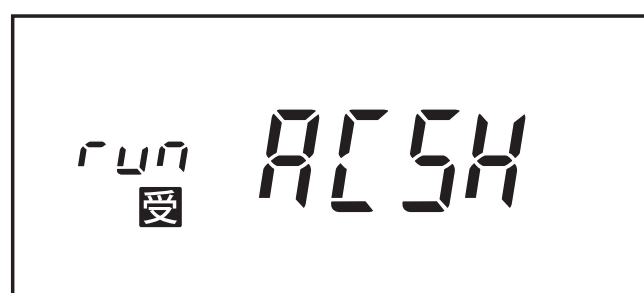
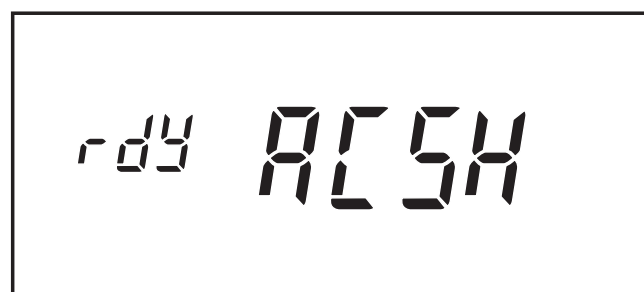
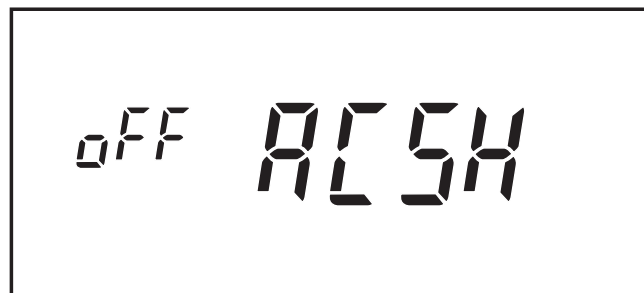
重要

- ・自動設定中は電源を切らないでください。自動設定せずに停止します。
- ・本機が電波を検出しているときは、マスター機のマイクから音声が入らないようにご注意ください。電波が乱されて正常に判定できないことがあります。
- ・2・3者間同時通話の場合でも、送信する無線機は1台です。最初に送信した人がマスター機となります。複数台で送信しないでください。
- ・グループ番号の検出中にトーン周波数が近いものは動作が不安定になったり、誤判定することがあります。（例：01番：67Hz、39番：69.3Hz）
その場合グループ番号を01番～38番の範囲に設定してからご使用ください。
- ・自動設定後はキーロックがオンします。手動でチャンネルやグループ番号を変更したい場合は、キーロック（P.29）をオフにします。

■ 交互通話・2者間同時通話・3者間同時通話のとき *フリーチャンネル2者/3者間同時通話は除く



- ① マスター機と任意の本機を用意します。誤判定を防ぐために近距離で作業してください。
- ② 本機の電源を切ります。
- ③ 「SET」キーを押し続けながら電源を入れます。「OFF ACSH」と表示されます。
- * 「PTT」キーを押すとACSH（アクシュ）モードにならずに通常の待受けに戻ります。
- ④ 「▲」キーを押して「on ACSH」にします。「PTT」キーを押すと「rdy ACSH」と表示されます。
- ⑤ 表示後、マスター機を送信します。
- ⑥ 数秒から最長で2分程度待ちます。マスター機の電波を検知すると「ピピ」音とともにランプが青色点滅し「run ACSH」と表示されます。
- ⑦ 設定が終わると「ブルル」音とともに、ランプが緑色点滅し、自動的に再起動します。その後通話確認します。

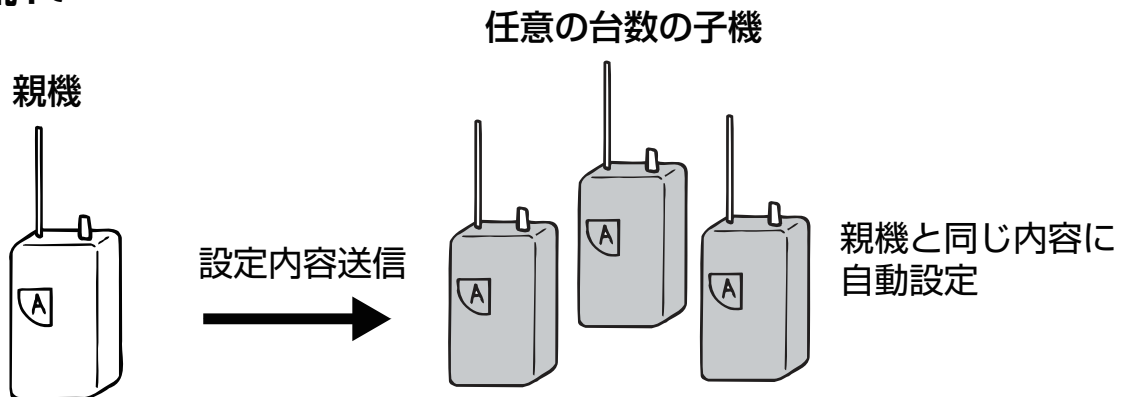


..... エアクローン

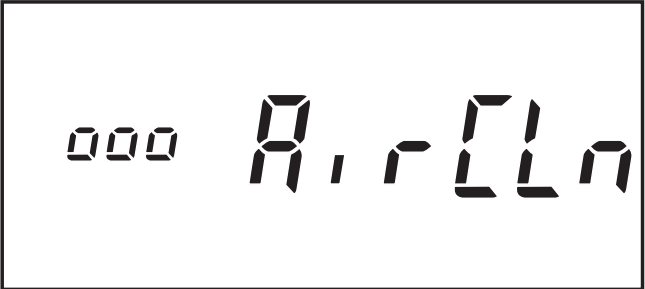
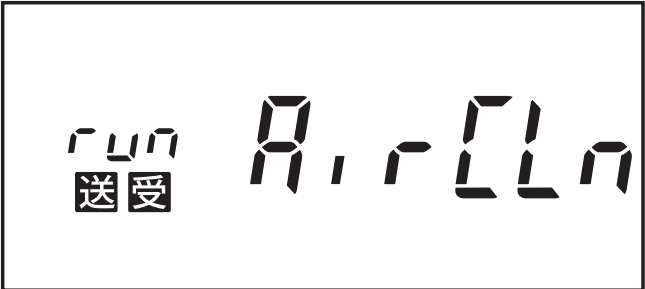
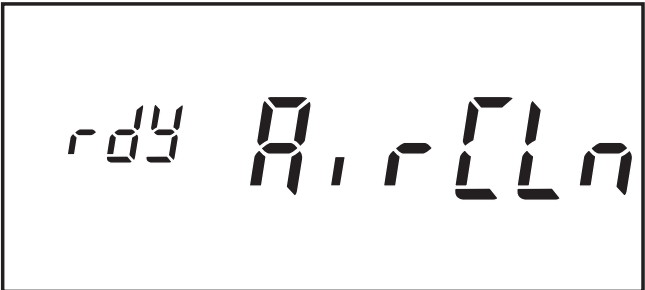
セットモード項目 (P.30) も含めて全て設定済みの本機を親機として、状態が異なる別の DJ-P400 に親機の設定内容を送信し、自動設定する機能です。異なる機種やBluetoothのペアリング情報はクローンできません。親機の近くに集めておけば、複数の子機を一度にクローンできます。本機能で設定する際は、Bluetoothアクセサリが使用できません。

重要 ・自動設定中は電源を切らないでください。自動設定せずに停止します。
 ・自動設定後はキーロックがオンします。手動でチャンネルやグループ番号を変更したい場合はキーロック (P.29) をオフにします。

■ 動作の流れ



- ① 親機と任意の子機を用意します。誤判定を防ぐために近距離で作業してください。
- ② 親機と子機の電源を切ります。
- ③ 親機と全ての子機について「SET」と「FUNC」キーを同時に押したまま電源を入れます。「rdy AirCLn」と表示されるまで約7秒間押し続けます。
- ④ 親機と子機とも「rdy AirCLn」表示が出たら親機の「PTT」キーを約2秒間押し続けると「ピピ」音とともにランプが赤色点滅し「run AirCLn」と表示されます。
- ⑤ 設定情報を受信すると「ピピ」音が鳴りランプが青色点滅し「run AirCLn」と表示されます。
- ⑥ 設定が終わると「ブルル」音が鳴り、ランプが緑色点滅し、自動的に再起動します。通話確認して異常が無いことを確かめてください。



Bluetooth機能

本機は最多8 台までの弊社製Bluetooth 対応アクセサリを登録できます。複数のアクセサリを登録するときは、正しく動作することを確認しながら1 台ずつ個別に行ってください。複数台同時接続はできません。また、他社製のBluetooth 対応イヤホン、イヤホンマイク類はペアリングできません。

Bluetooth 対応イヤホンマイク、スピーカーマイク

本機のBluetooth 機能に対応するマイクを使って通話ができます。

- ・ Bluetooth の通信範囲は約10m (目安) です。マイクの電波が本機に届く範囲は通話のできるので、無線機の前から離れて動き回ることができます。
- ・ 登録台数が8 台を超えるとペアリング情報が古いものから自動で削除されます。
- ・ 下記の機能はBluetooth に接続していると使えません。Bluetooth の設定をオフにしたうえで、有線式のマイクをお使いください。

コールバック (P.37) 、受信音ミュート タッチ/ボイス (P.41)
フリーチャンネル ペア接続 (P.16, P.18)

- ・ アクセサリの音量は本機の電源/音量ツマミでも調整できます。適切な音量に合わせてください。
- ・ 有線式オプション接続時は常にイヤホンまたはスピーカー出力がオンとなります。音声を聞きたくない場合は、有線式オプションはお使いにならないでください。


注意 ・ 本機の音量が極端に小さい、または極端に大きい場合、アクセサリの音量では適切に調整できなくなるため、ご注意ください。
 ・ 受信中に受信音の大きさが変化することがあります。一定のビープ音や強い信号を受信すると、強弱を一定レベルにして聞きやすくするためです。
 ・ 一度ペアリングしたアクセサリとはそれ以降毎回ペアリングする必要はありません。
 ・ 複数台同時接続はできません。また他社製のアクセサリはペアリングできません。

ペアリング

ペアリングとはマイクなどのBluetooth 対応アクセサリ (以下、アクセサリ) と本機をお互いに登録し、接続する操作です。

重要 ・ 複数のBluetooth 機器がある場所では、ペアリングしたいアクセサリを正しく検索できないことがあります。このような時は必要なアクセサリだけになるように、使用していないBluetooth 機器の電源をオフにするか、それらの機器から離れてください。
 ・ リセット (P.29) すると登録されたペアリング情報は全て消え、復元できなくなります。あらためて登録したい機器とペアリングしてください。
 ・ 8 台を超えてペアリングすると、古いペアリング情報は自動で消えます。ペアリング情報が消えたら、再度ペアリングしてください。
 ・ 操作を始める前に、Bluetooth マイクのバッテリーを充電して電源が切れないう、ご注意ください。イヤホンマイクであれば、イヤホンを耳に装着します。

1. 本機をペアリングモードにする

- ① セットモード「Bluetooth」 (P.41) で「bLt」を選択し、「▲」キーを押して「on」にします。その後「PTT」キーで確定します。待受画面に「」アイコンが点滅しランプが赤緑交互点灯します。

※ 2 台目以降のアクセサリとペアリングする場合、以下をお読みください。

● 2 台目以降のペアリングモード


- ② 上記①の後に一度電源を切り、「▼」キーと「SET」キーを同時に長押ししながら、電源をオンにします。ランプが赤緑色交互点灯するまで押し続けます。

2. アクセサリーをペアリングモードにする

操作の前にアクセサリの取扱説明書もお読みください。

- ① インジケータがオレンジ色に点灯後、緑で早く点滅するまで「電源」ボタンを長押しします。
 - ② 「ペアリング中です」と音声聞こえ、インジケータが緑で早く点滅したら、「電源」ボタンから手をはなします。
- * 弊社製のアクセサリを初めてご使用になるときは電源をオンするだけで、ペアリングモードになります。
 - * ペアリングできる無線機が見つからない状態が5分つづくと、電源がオフします。

3. 本機とアクセサリをペアリングする

上記の操作で本機とアクセサリが共にペアリングモードになると自動で接続します。接続できたら「」アイコンが点灯します。



参考

ペアリング後の動作について、一度ペアリングしたアクセサリとはそれ以降毎回ペアリングする必要はありません。

下記の条件を満たしている場合は自動で接続します。

- ・本機のBluetooth機能が「on」
- ・本機が待受状態
- ・アクセサリの電源が「オン」



注意

Bluetoothの通信は、周辺機器の影響で通信範囲が著しく変化したり、ペアリングが切断されることがあります。

- ・電子レンジなど
- ・無線LAN
- ・他のBluetooth機器

このような場合は、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、電子レンジなどの使用を中止したり、周辺機器との距離をはなすなどしてください。また、Bluetooth機器と本製品の距離をできるだけ近づけると、通信状況が改善することがあります。

■ キー操作

アクセサリの「▲/▼」キー操作は、アクセサリの受信音量変更に割り当てられています。後述のセットモード「BTマイク▲/▼キー」(P.42)でチャンネル変更にも割り当てることができます。割り当て以外の操作はできません。

またセットモード「サウンド」(P.37)をGdcかALLにして、待受にて「電源」ボタンを押すことにより現在のチャンネルをガイドします。



参考

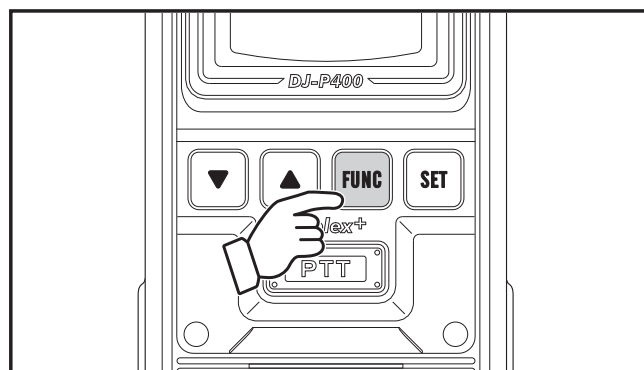
以下の操作は本機のキー操作で行ってください。

- ・設定変更
- ・スキャン
- ・ペアリング接続
- ・モニターモード等

リセット

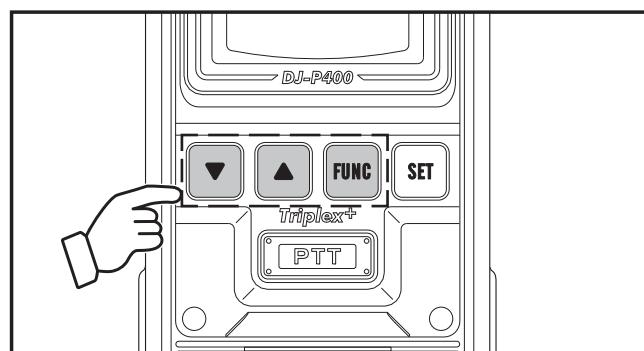
■ 簡易リセット

「FUNC」キーを押しながら電源を入れます。ディスプレイが全点灯し基本機能（通話モード、チャンネル、ペアリング、セットモードなど）が初期化されます。



■ 工場出荷リセット

「▼」キー、「▲」キー、「FUNC」キーを同時に押しながら電源を入れます。ディスプレイが全点灯し拡張機能も含めた全ての設定が初期化されます。
※レストア情報は除きます。



4 セットモード

..... セットモード一覧

No.	項目	初期値
1	コンパクター	At ComPnd
2	秘話設定	oFF ScrblE
3	音声ループ	oFF AFLooP
4	ベル	oFF bEEL
5	バッテリーセーブ	on1bS
6	オートパワーオフ	oFF Apo
7	ランプ (バックライト)	5 LAmP
8	ランプ (LED)	on LEd
9	PTTホールド	At PttHLd
10	送信出力	Pow-At
11	VOX	oFF vo
12	操作音量	3 Sd-vol
13	サウンド	bp Sound
14	エンドピー	oFF EndP
15	コールバック	oFF CALLb
16	ディスプレイ表示	modE
17	スケルチレベル	SqL 3
18	キーロック時間	Loc 2
19	メモリー表示	numbEr
20	音色変更	1 mELody
21	電池電圧参照	bAt 0.00
22	LCD消灯	on Lcd
23	音量レベル変更	EvoL-H
24	イヤホン断線検知	on EAr-C
25	受信音ミュート	oFF r-mutE
26	ノイズキャンセラー	oFF noiSE
27	Bluetooth	oFF bLt
28	ペアリング一覧	* 000-00
29	BTマイク▲/▼キー	voL bLKEy
30	受信音ミュートレベル	4 r-muSn

No.	項目	初期値
31	受信音ミュートディレイタイム	15 r-mudt
32	マイク音量	4 m-Gain
33	秘話周波数	34 Scr-Fq
34	秘話エンファシス	on EmPHA
35	減電池アラーム	oFF bAtt-C
36	減電池スリープ	on bt-SLP
37	グループ設定	ton GrouP
38	トーンマージン	2 mG-ton
39	テールノイズキャンセル	on tAiLnC
40	VOXディレイタイム	1 vod-t
41	再開時間設定	5 duAL-t
42	オプションPTT設定	oFF inSppt
43	チャンネル表示	ALL CHdiSP
44	通話圏内確認	oFF ArEA-C
45	レストア	oFF rESto
46	モニターモード	oFF moni

注意 グレー反転表示の部分は後述の拡張セットモードにて設定操作すると表示されます。

通話モード別機能表

	交互通話	2者間同時通話	3者間同時通話	4者間同時通話	複信中継子機
コンバンダー	○	○	○	○	○
秘話設定	○	○	○	○	○
音声ループ	× (オフ)	○	× (オフ)	× (オフ)	○
ベル	○	○	○	○	○
バッテリーセーブ	○	○	○	○	○
オートパワーオフ	○	○	○	○	○
ランプ (バックライト)	○	○	○	○	○
ランプ (LED)	○	○	○	○	○
PTTホールド	○	○	○	○	○
送信出力	○	○	○	○	○
VOX	○	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
操作音量	○	○	○	○	○
サウンド	○	○	○	○	○
エンドビー	○	○	○	○	○
コールバック	○	○	○	○	○
ディスプレイ表示	○	△ (FrEq)	△ (FrEq)	△ (FrEq)	△ (FrEq)
スケルチレベル	○	△ (0)	△ (0)	△ (0)	△ (0)
キーロック時間	○	○	○	○	○
メモリー表示	○	○	○	○	○
音色変更	×	○	×	×	○
電池電圧参照	○	○	○	○	○
LCD消灯	○	○	○	○	○
音量レベル変更	○	○	○	○	○
イヤホン断線検知	○	○	○	○	○
受信音ミュート	○	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
ノイズキャンセラー	○	○	○	○	○
Bluetooth	○	○	○	○	○
ペアリング一覧	○	○	○	○	○
BTマイク▲/▼キー	○	○	○	○	○
受信音ミュートレベル*	○	×	×	×	×
受信音ミュートディレイタイム*	○	×	×	×	×
マイク音量*	○	○	○	○	○
秘話周波数*	○	○	○	○	○
秘話エンファシス*	○	○	○	○	○
減電池アラーム*	○	○	○	○	○
減電池スリープ*	○	○	○	○	○
グループ設定*	○	×	×	×	×
トーンマージン*	○	×	×	×	×
テールノイズキャンセル*	○	×	×	×	×
VOXディレイタイム*	○	×	×	×	×
再開時間設定*	×	×	×	×	×
オプションPTT設定*	○	○	○	○	○
チャンネル表示*	○	○	△ (noL)	△ (noL)	○
通話圏内確認*	○	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
レストア*	○	○	○	○	○
モニターモード*	○	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
コールトーン	○	△ (☎)	○	○	△ (☎)
グループトーク	○	○	×	×	○
キーロック	○	○	○	○	○
リセット	○	○	○	○	○
メモリーCH	○	○	○	○	○
メモリースキャン	○	×	×	×	×
スキャン	○	×	×	×	×
ACSH	○	○	○	×	×
エアクローン	○	○	○	○	○

	連続交互通話	連続2者間同時通話	フリーチャンネル 2者同時通話	フリーチャンネル 3者同時通話	デュアル オペレーション
コンパクター	○	○	○	○	○
秘話設定	○	○	○	○	○
音声ループ	× (オフ)	○	○	× (オフ)	× (オフ)
ベル	○	○	○	○	○
バッテリーセーブ	○	○	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
オートパワーオフ	○	○	○	○	○
ランプ (バックライト)	○	○	○	○	○
ランプ (LED)	○	○	○	○	○
PTTホールド	○	○	○	○	○
送信出力	○	○	○	○	○
VOX	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
操作音量	○	○	○	○	○
サウンド	○	○	○	○	○
エンドビー	○	○	○	○	○
コールバック	○	○	○	○	○
ディスプレイ表示	△ (FrEq)	△ (FrEq)	△ (FrEq)	△ (FrEq)	○
スケルチレベル	△ (0)	△ (0)	△ (0)	△ (0)	○
キーロック時間	○	○	○	○	○
メモリー表示	○	○	○	○	×
音色変更	×	×	×	×	×
電池電圧参照	○	○	○	○	○
LCD消灯	○	○	○	○	○
音量レベル変更	○	○	○	○	○
イヤホン断線検知	○	○	○	○	○
受信音ミュート	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
ノイズキャンセラー	○	○	○	○	○
Bluetooth	○	○	○	○	○
ペアリング一覧	○	○	○	○	○
BTマイク▲/▼キー	○	○	○	○	○
受信音ミュートレベル*	×	×	×	×	×
受信音ミュートディレイタイム*	×	×	×	×	×
マイク音量*	○	○	○	○	○
秘話周波数*	○	○	○	○	○
秘話エンファシス*	○	○	○	○	○
減電池アラーム*	○	○	○	○	○
減電池スリープ*	○	○	○	○	○
グループ設定*	×	×	×	×	○
トーンマージン*	×	×	×	×	○
テールノイズキャンセル*	×	×	×	×	○
VOXディレイタイム*	×	×	×	×	×
再開時間設定*	×	×	×	×	○
オプションPTT設定*	○	○	○	○	○
チャンネル表示*	△ (noL)	△ (noL)	○	○	○
通話圏内確認*	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)
レストア*	○	○	○	○	○
モニターモード*	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	× (オフ)	○
コールトーン	○	○	○	○	○
グループトーク	×	×	×	×	○
キーロック	○	○	○	○	○
リセット	○	○	○	○	○
メモリーCH	○	○	○	○	○
メモリースキャン	×	×	×	×	○
スキャン	×	×	×	×	○
ACSH	×	×	×	×	×
エアクローン	○	○	○	○	○

- …………… 機能の初期値含め、全ての設定値が使用できます。
 - △（*）…………… （）内の設定値が使用できません。それ以外の設定値は使用できます。
 - ×（オフ）…………… 該当するモードでは強制的にオフとなり使用できません。
- 例：コールトーン …………… △（☎）電話タイプではコールトーンが使用できません。
例：受信ミュートレベル※… ※ 拡張セットモードです。

- ・拡張セットモードは無線機管理者向けです。通常セットモードよりも高度な内容で、意味を理解せずに勝手に変更すると通信できなくなる、故障と間違ふような動作をする、などトラブルのもととなります。
- ・拡張セットモードは通常のリセット（P.29）では初期化されません。電源を切り「▼」キー、「▲」キー、「FUNC」キーを同時に押したまま電源を入れるオールリセット（P.29）を行いますが、チャンネルその他の設定も全て初期化されます。
- ・セットモード操作中は、送信ができなくなります。

…………… セットモード基本操作 ……………

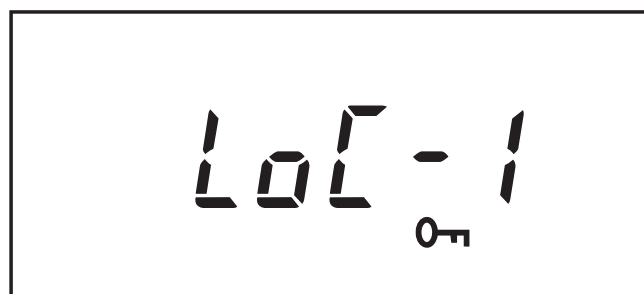
本機をもっと使いやすくするために、各種機能の動作をカスタマイズできます。

■ セットモードの設定方法

- ① 待受で「FUNC」キーを押しながら、素早く「SET」キーを押します。
- ② 項目を順序通りに変更するには「SET」キーを押し、逆は「FUNC」キーを押します。
- ③ 設定値の変更は「▼」キーまたは「▲」キーを押します。
- ④ 項目の確定は「PTT」キーを押し、待受に戻ります。

■ 拡張セットモードの設定方法

- ① 待受で「FUNC」キーを長押しします。
- ② キーロックがかかりますが、続けて「SET」キーを5回連続で押すと、「ピピ」音とともに拡張セットモードがオンになります。
- ③ セットモードに入ると、設定項目が増えていることを確認します。
- ④ 拡張セットモードをオフにする場合は、同様の操作を繰り返します。



..... セットモード項目

セットモードで設定できる機能の内容と、設定値の一覧です。

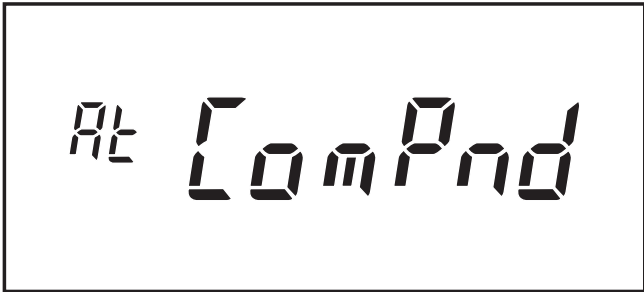
* マークが付いているのは拡張セットモードの項目です。

** マークが付いているのはBluetooth に対応していない項目です。

● No.1 コンパンダー

通話中に聞こえるバックノイズを低減できます。同時通話に特化した本機では設定を変える必要はありません。初期値は At です。初期値だと同時通話の各モードでは自動的にオンします。

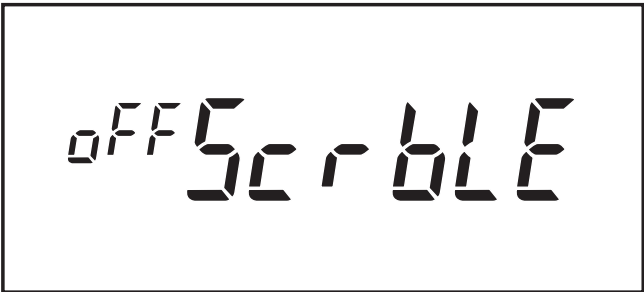
oFF/ on/ At (自動)



● No.2 秘話設定

設定すると他の人には通話内容が聞かれにくくなります。セキュリティとしては低いものです。秘話の仕様上、若干音質が変わり明瞭度も下がります。特に聞かれて困らない通話内容であれば初期値オフのままをお勧めします。

oFF/ on



● No.3 音声ループ (2者間同時・複信中継子機通話専用)

設定することで、第3者が通話を聞けるようになります。また3者・4者間同時通話は設定しなくても同じチャンネルグループにすれば全員の通話が聞こえます。初期値はオフです。

oFF/ on

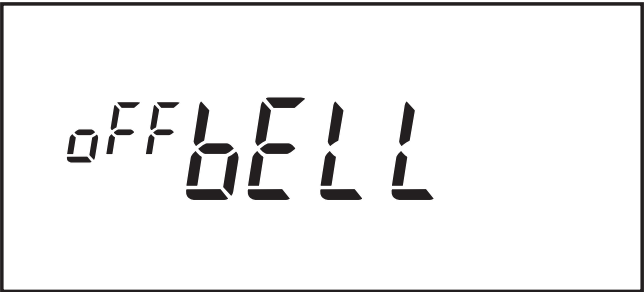


注意 複信中継子機通話では片方の無線機のみ設定してください。両方の無線機に設定すると特性上、ハウリングを起こしてしまいます。

● No.4 ベル (交互通話向け)

着信をベル音とアイコンでお知らせします。通話中は鳴りません。しばらく待受けが続くと動作を再開します。初期値はオフです。

oFF/ on

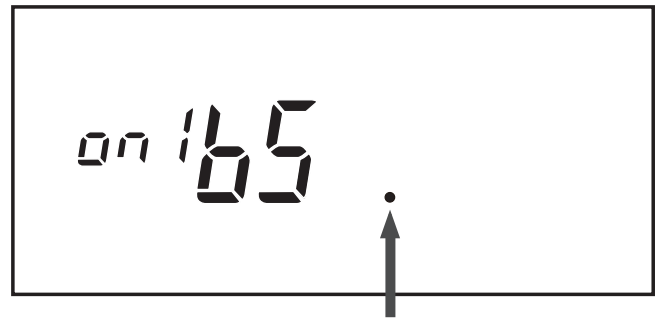


注意 通話圏内確認を on にすると通話圏内確認用の信号を受信する関係上、通常の受信信号と区別がつかなくなるため動作しない仕様となっています。

● No.5 バッテリーセーブ (交互通話向け)

待受状態が5秒以上続くと電源を内部で自動的に短いスパンでオン/オフさせて電池の消費を抑える機能です。on2は低消費モード、Ecoはさらに低消費モードです。on2はランプ(バックライト)が消灯します。Ecoはランプ(LED)とディスプレイが点滅します。

oFF/ on1/ on2/ Eco



*設定値 oFF ではドットが表示します。

注意

- ・同時通話モードは全て、常に送信しているためバッテリーセーブは無効です。
- ・低消費時間が長い on2 と Eco では受信音声が入切れを起こすことがあります。
- ・本機能をオフにすると受信音声の反応は良くなりますが、バッテリーの消耗が早くなります。
- ・以下の条件は強制的に on1 に切替わります。
VOX、減電池アラーム、通話圏内確認、Bluetooth動作

● No.6 オートパワーオフ (交互通話向け)

電源の切り忘れを防ぐ機能です。無操作と送信停止の状態が設定時間続くと、自動的に電源が切れます。通常はオフのまま使用してください。

oFF/ 30/ 60/ 90/ 120



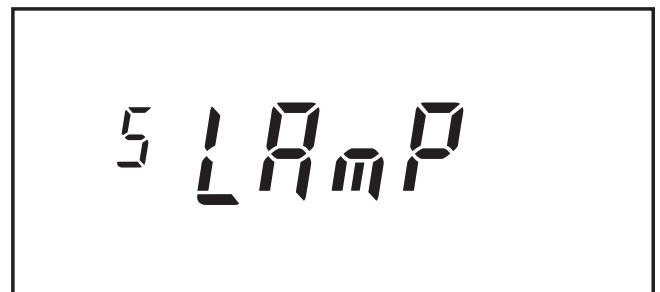
電源が切れるとランプ・ディスプレイが消灯します。保管する場合は電源/音量つまみを目盛(●)まで反時計方向に回してください。

参考

● No.7 ランプ (バックライト)

ディスプレイ、キーバックライトの動作を設定します。初期値では約5秒間無操作で消灯します。onだと常時点灯しますがバッテリーの消耗がとて早くなります。

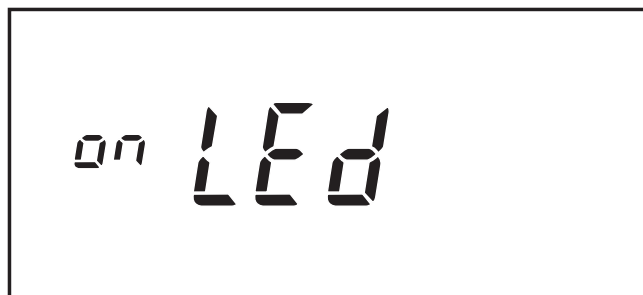
oFF/ 5/ on



● No.8 ランプ (LED)

LEDランプを消灯することができます。光をさへぎる必要がある特殊な用途向けです。通常はオンのまま変えないでください。

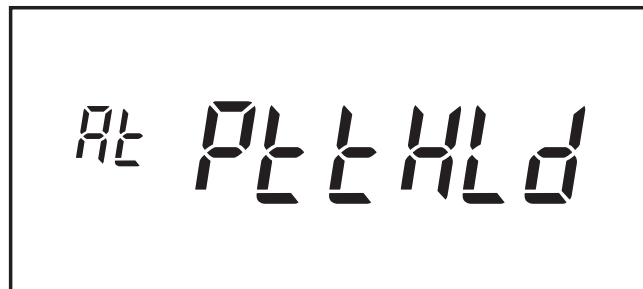
oFF/ on



● No.9 PTTホールド

「PTT」キーを一度押すと送信を継続する機能です。送信解除する際は At だと「PTT」キーを約1秒間長押しします。on だと「PTT」を再度押します。初期値は At です。初期値だと同時通話での各モードでは自動的にオンにします。

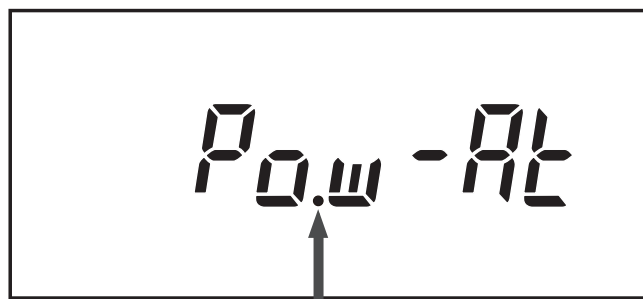
oFF/ on/ At (自動)



● No.10 送信出力

送信出力を設定できます。初期値はAt です。通話モードに合わせて送信出力が自動で切替わります。Hi にすると3分に一回、2秒間タイムアウトするため、同時通話などで連続送信ができなくなります。通常は At のまま使用してください。

Lo/ Hi/ At (自動)



* 設定値 Lo ではドットが表示します。



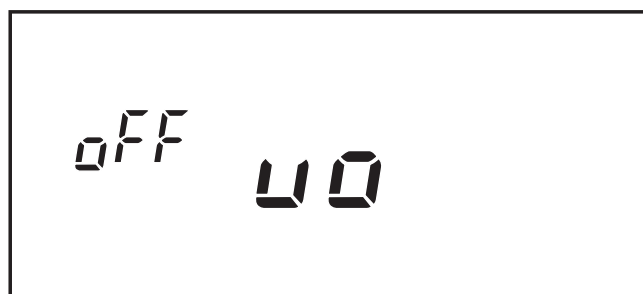
参考

At・Lo 設定時のbチャンネルはタイムアウト制限がない連続通話ができます。

● No.11 VOX (交互通話専用)

「PTT」キーを押さずに、外部マイクに向かって話すと、自動的に送信する機能です。大きい声で話す場合は Lo、小さい声で話す場合は Hi に設定してください。初期値はオフです。

oFF/ Lo/ Hi

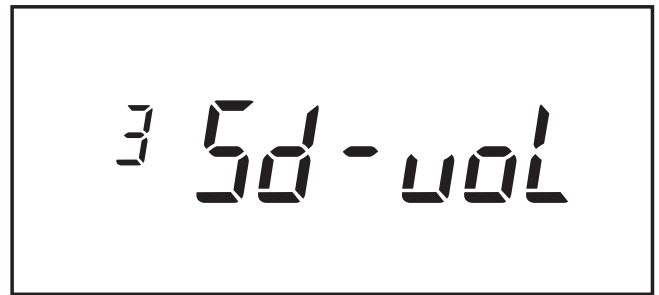


注意 オプションPTT設定 ALL (本体マイク：有効) に設定し、本体マイクに向かって話してもVOX動作しません。

● No.12 操作音量

本機の通話の音量と操作ビープ音量は連動しません。音量は 6 段階で設定できます。初期値は3です。

0 ~ 5



● No.13 サウンド

bP は操作ビープ音のみ、Gdc は音声ガイド、ALL はビープと音声ガイドの両方が聞こえます。オフは音が鳴らないため特殊な用途向けです。初期値はbPです。

oFF/ bP/ Gdc/ ALL



● No.14 エンドピー

「PTT」キーを押してから放したときに「ピッ」音が鳴り送信が終わったことを相手にお知らせする機能です。送信側で設定してください。エンドピピにすると、受信終了時に信号レベルに合わせてビープ音が鳴ります。ビープ音は3段階あり強（ピッ）中（ピピッ）弱（ピピピッ）と鳴ります。受信側で設定してください。初期値はオフです。

oFF/ on/ PP



● No.15 コールバック**

送信中にイヤホンから自分の送信音声がかえってくる機能です。正しく送信できているか確認しながら通話できます。コールバックの音量は本機の音量つまみで調整できます。初期値はオフです。

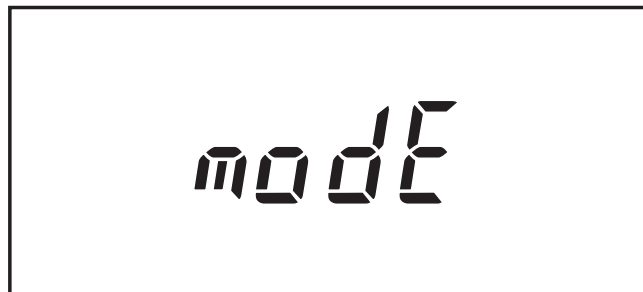
oFF/ on



● No.16 ディスプレイ表示

通話モード番号の代わりに他の情報を表示させることができます。初期値は mode です。

- modE : 通話モード番号を表示
- SmEtEr : S/RF メーター表示 (縦棒5段階表示)
- Cntdn : 通信制限残り時間表示 (***)秒)
- FrEq : 周波数を MHz 単位で表示



- ・設定値 FrEq では一部の通話モードで機能制限 (周波数表示なし) されています。
- ・設定値 Cntdn では送信時に通信制限残り時間が表示されます。また時間表示中に受信すると時間表示が継続します。



modE 表記



SmEtEr 表記



Cntdn 表記



FrEq 表記



FrEq 表記 (ton トーンスケルチ 1)



FrEq 表記 (Cd2 デジタルコードスケルチ 108波)

● No.17 スケルチレベル

スケルチのレベルを 0～5 の範囲で調整します。大きくし過ぎるとノイズなどでスケルチが開くことが減る分、弱い信号は聞こえなくなります。通常は 3 のままお使いください。

0～5



- ・設定値 0 ではディスプレイの「受」が表示され、スケルチ開放で「ザー音」が聞こえます。
- ・グループトーク機能時やあらかじめプリセット（チャンネル・グループ）されている通話モードは「ザー音」が聞こえません。
- ・モニターモード中は設定値 0 にすることができません。

● No.18 キーロック時間

待受けからキーロックする時間を調整できます。通常は 2 のままお使いください。

1～3（秒）



● No.19 メモリー表示

メモリーモードの表示方法を変更する機能です。

number : メモリー番号表示

mode : モード番号表示

no-mode : メモリー/モード番号の同時表示



メモリーモード中ディスプレイ表示 FrEq 設定していると周波数表示が優先されます。



number 表記



mode 表記



no-mode 表記

● No.20 音色変更 (2者間同時・複信中継子機通話専用)

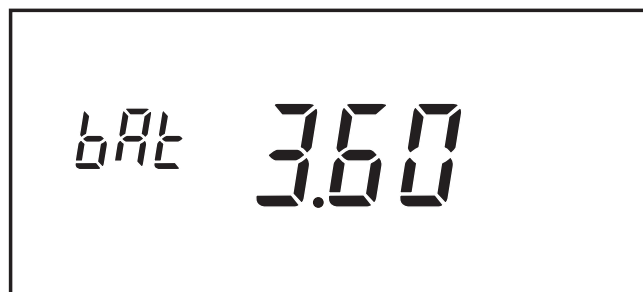
電話タイプの呼出音を3種類の中から変更できます。初期値は1です。

1 ~ 3



● No.21 電池電圧参照

バッテリーの電圧を表示します。表示は目安で個体のばらつきもあります。電池が切れるときの数値を覚えておくと、より精度の高い減電池表示として使えます。右記は例です。



● No.22 LCD消灯

送信時または受信時にディスプレイ表示を消灯する機能です。待受時は表示が点灯します。液晶が発するノイズが原因で送受信音に雑音が入ることがあり、オフにするとノイズ対策に有効な場合があります。初期値はオンです。

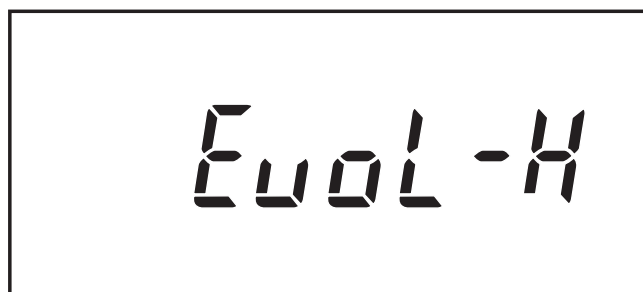
oFF/ on



● No.23 音量レベル変更

イヤホンからの音が大きすぎるときはLにします。調整できる音量レベルを全体に低くします。初期値はHです。

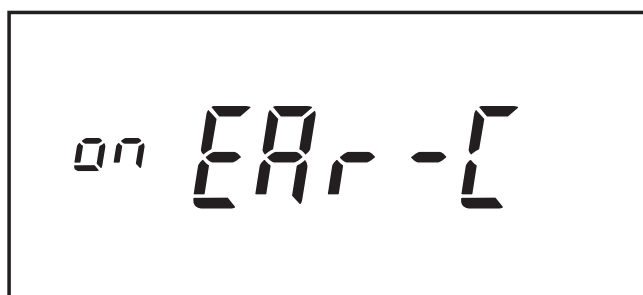
L/ H



● No.24 イヤホン断線検知

外部機器への接続などで検知機能が障害になるときだけオフにします。イヤホンやマイクアクセサリをお使いの時はこの設定を変える必要はありません。初期値はオンです。

oFF/ on



● No.25 受信音ミュート (交互通話専用)

有線式イヤホンマイク装着時にワンタッチまたは自分の声で受信音をミュートする (音量1に下げる) 機能です。ミュート解除後はもとの音量に戻ります。自動で戻すこともできます。初期値はオフです。



Hnd : 外部「PTT」キーを短く押すとミュートします。もう一度押すと解除できます。

tch** : 外部マイクを軽くたたくとミュートします。もう一度外部マイクを軽くたたくと解除できます。

vo** : 外部マイクに声が入るとミュートします。声が入っている間はミュートを保持し、声がなくなると解除されます。

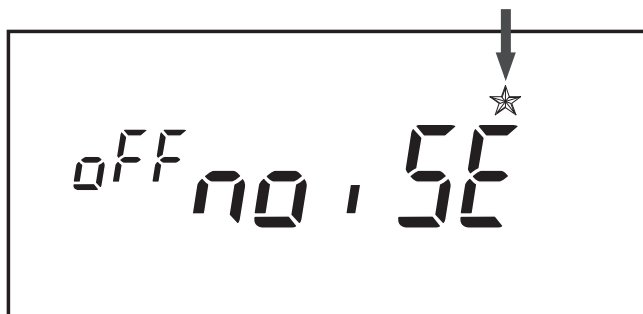
注意

- ・タッチとボイスはバッテリーセーブ機能が働かないため、使用時間が大幅に短くなりますが異常ではありません。一般用途にはハンドをお使いください。
- ・本体マイクや咽喉マイク、他社製オプションには対応しません。またスピーカーマイクやBluetoothアクセサリではタッチとボイスは動作しません。
- ・受信音ミュートはVOX (P.36)、PTTホールド (P.36) 設定中は使用できません。
- ・ミュート状態で何かのキーを押すとミュートが解除されます。
- ・ハンドとタッチではミュート解除忘れを防ぐため、一定時間が経つと自動的にミュートが解除されます。
- ・ハンド設定時は送信開始までに遅延が起るため、音声の始めが途切れる場合があります。「了解です、～」や「はい、～」など、途切れても支障がないような言葉から話し始めると話しやすくなります。
- ・ボイスは音声以外で動作してしまうような騒音の大きい場所では、使用できません。

*設定値 on では★が表示します。

● No.26 ノイズキャンセラー

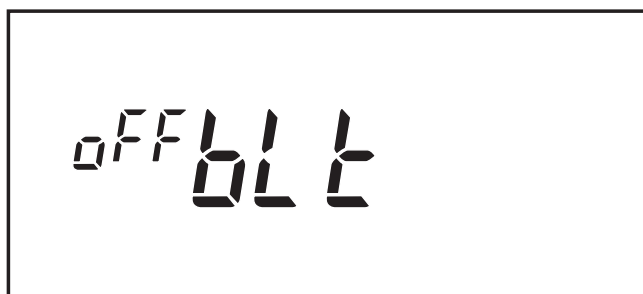
マイクに向かって話した音声以外のノイズを除去して音声の明瞭度を上げる機能です。オンにするとバッテリー消費が増えます。通話モードや他の機能との組み合わせによっては通話時間が1～2時間短くなることがあります。初期値はオフです。



off/ on

● No.27 Bluetooth

弊社製 Bluetooth 対応アクセサリと接続できます。オンにするとバッテリー消費が増えます。通話モードや他の機能との組み合わせによっては通話時間が1～2時間短くなることがあります。初期値はオフです。



off/ on

● No.28 ペアリング一覧

Bluetooth をオンにすると、過去にペアリングしたアクセサリ名が表示されます。すでにペアリング済みの中から別のアクセサリへ接続 / 削除したい場合は、まずペアリング一覧からアクセサリ名を「▼」キーと「▲」キーで選択します。

接続

選択後に「▼」キーと「▲」キーを同時に約2秒間押し続けると接続を開始します。ディスプレイに「ConECt」が点滅します。

削除

選択後に「FUNC」キーと「SET」キーを同時に約2秒間押し続けると削除します。ディスプレイに「Erase」が表示します。



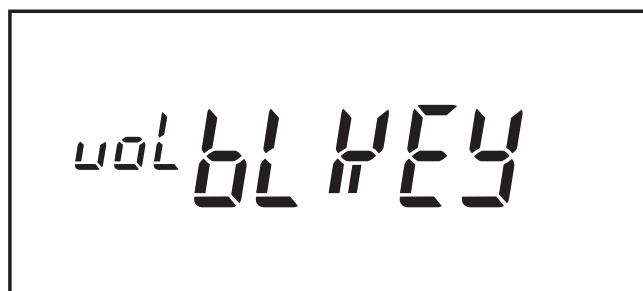
参考

接続開始後、接続先が見当たらない場合は一定時間経過後にペアリング一覧へ戻ります。

● No.29 BTマイク▲/▼キー

弊社製 Bluetooth 対応アクセサリの「▲ / ▼」キーの割り当てを設定できます。初期値はvol (音量変更) です。

vol (音量変更) / ch (チャンネル変更)



● No.30 受信音ミュートレベル* (交互通話専用)

受信音ミュートのタッチ、またはボイスを使用時のマイク感度レベルを変更できます。ミュートが利きにくい場合は設定値を大きく、ミュートが利きやすい場合は設定値を小さくします。初期値は 4 です。

1 ~ 7



● No.31 受信音ミュートディレイタイム* (交互通話専用)

ミュートの保持時間を変更できます。ハンドとタッチではミュートの解除忘れを防ぐための時間設定です。設定時間になると自動的に解除されます。ミュート状態の保持時間を延ばすときは、設定時間を長くします。ボイスでは息継ぎしても解除しないようにするための時間設定です。ミュートの切り替えを素早くしたいときは短めに設定すると使い勝手が向上しますが、息継ぎでも解除されることがあります。



ハンド/タッチ

5 / 10 / 15 / 30 / 60 (秒) 初期値 15秒

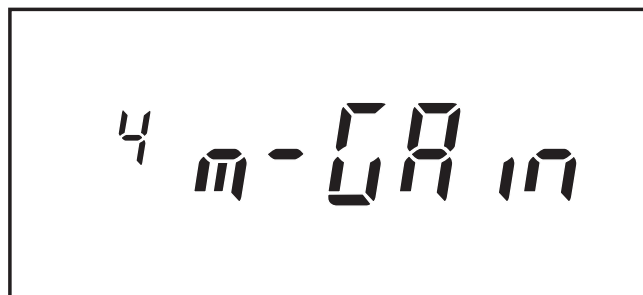
ボイス

1 / 2 / 3 / 4 / 5 (秒) 初期値 3秒

● No.32 マイク音量* (マイクゲイン)

相手に聞こえる声が小さいとき (5 以上) や話し声が歪むとき (3 以下) に調整します。通常は 4 のままお使いください。

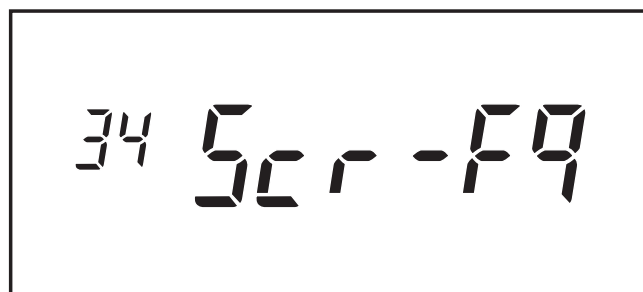
1 ~ 7



● No.33 秘話周波数*

通話したいグループ全員同じ周波数に設定します。初期値は3.4kHz です。

2.7 ~ 3.4kHz (0.1kHz ステップ)



● No.34 秘話エンファシス*

弊社の秘話搭載特定小電力無線機や他社製の秘話搭載特定小電力無線機の秘話は機種によって通話の相性があり、音声聞き取りづらい場合があります。聞き取りづらいつと感じたときオフにすることで改善される場合がありますのでお試しください。初期値はオンです。

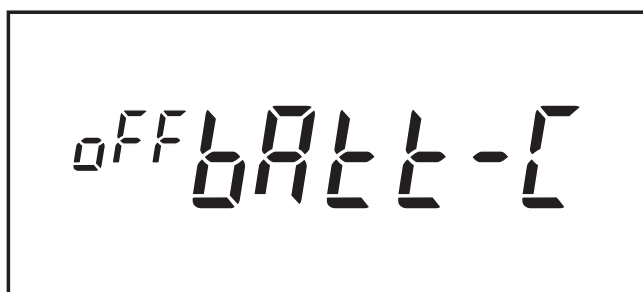
oFF/ on



● No.35 減電池アラーム*

減電池時、ランプが早い周期で青色点滅し、バッテリーアイコンも点滅します。加えてこの設定をすると、バッテリーを充電・交換するまで設定した間隔でピープ音を鳴らして注意を促します。初期値はオフです。

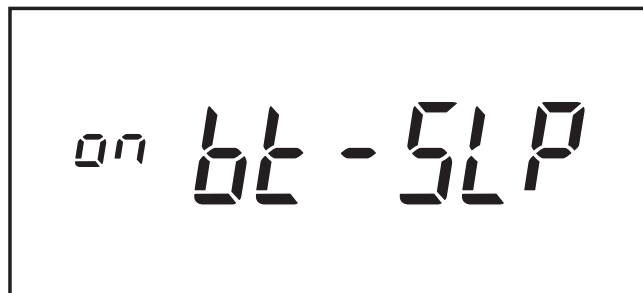
oFF/ 5/ 10/ 20/ 30/ 40/ 50/ 60 (秒)



● No.36 減電池スリープ*

バッテリーの電圧が一定レベルまで下がると自動的に電源を切り、過放電を防ぐ機能です。初期値はオンです。

oFF/ on



参考

- ・設定値がオフの場合でもバッテリーの電圧が一定レベルまで下がると誤動作防止のため、自動的に電源を切ります。
- ・電源が切れるとランプ・ディスプレイが消灯します。保管する場合は電源/音量ツマミを目盛(●)まで反時計方向に回してください。

● No.37 グループ設定*

(交互通話・デュアルオペレーション専用)

本機のグループトーク機能は以下の3つから設定できます。番号変更については、「2. 通信方法 グループトーク機能」をお読みください。初期値は ton (トーン) です。

- ・ ton (トーンスケルチ 1 ~ 50)
- ・ Cd1 (デジタルコードスケルチ 83波)
- ・ Cd2 (デジタルコードスケルチ 108波)

ton/ Cd1/ Cd2

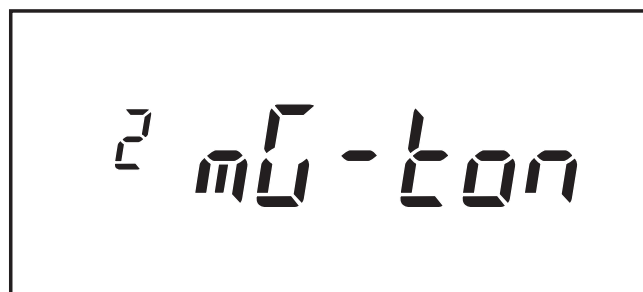


● No.38 トーンマージン*

(交互通話・デュアルオペレーション専用)

グループトーク機能の信号の読み取り精度を調整できます。弊社製の旧型機や他社製品とグループトークでの通話が不安定な場合、お試しください。数字が大きいほど精度がゆるくなります。通常は 2 のままお使いください。

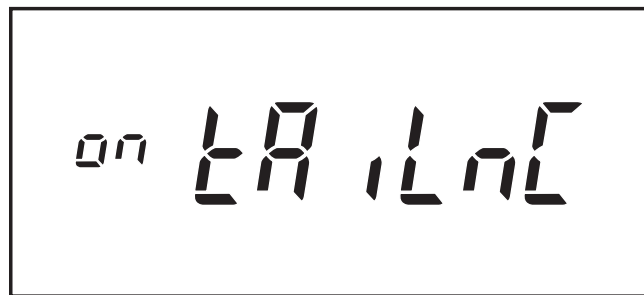
1 ~ 5



● No.39 テールノイズキャンセラー*
(交互通話・デュアルオペレーション専用)

本機はグループトーク機能を入れていなくても通話終了時に受信側から聞こえる「ザツ」を除去する機能が入っています。本機能は送信側と受信側の両方で有効にしたときのみ動作します。初期値はオンです。

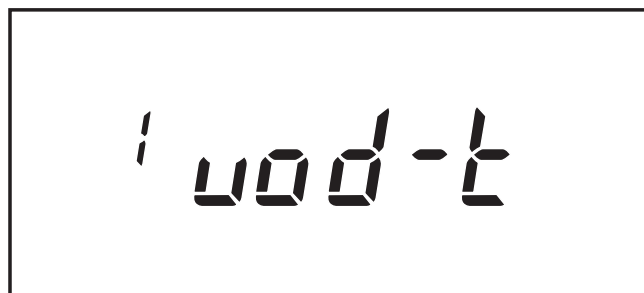
oFF/ on



● No.40 VOXディレイタイム*
(交互通話専用)

VOX で送信中に息継ぎなどで声が途切れても送信状態を保持する時間を設定できます。初期値は1秒です。

1 ~ 3 (秒)



● No.41 再開時間設定*
(デュアルオペレーション専用)

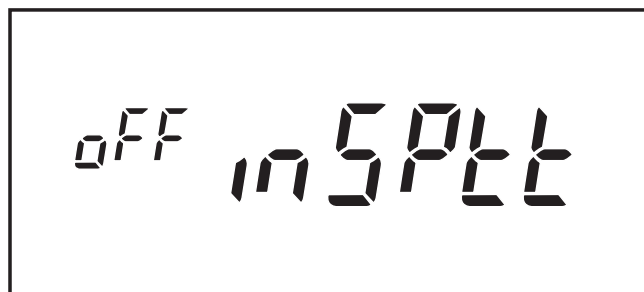
受信終了後に動作再開するまでの時間を設定します。初期値は5秒です。

1 ~ 5 (秒)



● No.42 オプションPTT設定*

有線オプション接続時に本体 PTT と本体マイクの有効/無効を選べます。使用するオプションに合わせて設定してください。初期値はオフです。



- oFF : 本体 PTT 無効 / マイク 無効 (オプション PTT 有効 / マイク 有効)
- out : 本体 PTT 有効 / マイク 無効 (PTT両方 有効 / オプションマイク 有効)
- ALL : 本体 PTT 有効 / マイク 有効 (イヤホン接続時の設定)



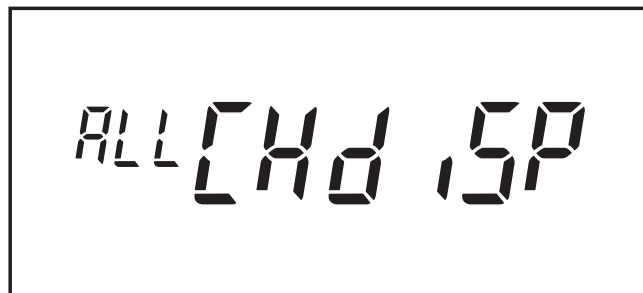
参考

- ・有線式オプションを接続していない場合は、本体 PTT と本体マイクが有効となります。
- ・Bluetoothアクセサリを使用時に有線式オプションを接続していない場合は、本体 PTT 有効 / 本体マイクが無効となります。

● No.43 チャンネル表示*

本機のチャンネルは L01～L09、b01～b11 と表示されます。noL に変更すると他社製の 01～20 方式に変更することができます。オフにすると表示が「—」となります。設定内容を隠せます。初期値は ALL (弊社表示)

oFF/ noL/ ALL

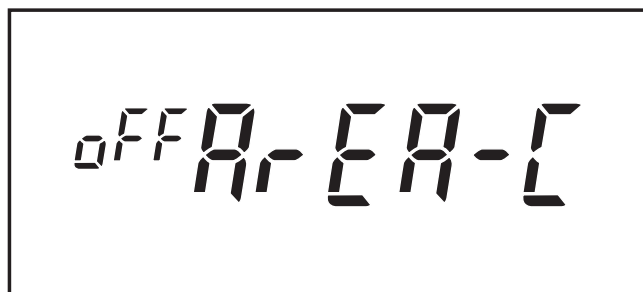


注意 あらかじめプリセット (チャンネル・グループ) されている通話モードでは noL 機能が制限されています。詳細は「通話モード別機能表」をお読みください。

● No.44 通話圏内確認* (交互通話専用)

グループトーク中に相手との通話が可能かどうかの目安を表示することができます。初期値はオフです。

oFF/ on



通話したいグループ全員の通話圏内確認をオンにして同じグループ番号にしてください。

約1分毎に一瞬ですが通話が可能か確認をす

るので、そのタイミングが別のユーザーのチェック動作と重なると正しく判断できなくなります。これを防ぐため、この機能を使うときは電源を入れるタイミングを全員少しずらしてください。また3人以上のグループで使用する際は、圏内判定が正確に表示されない場合がありますが、この表示が実際の通話の距離や音質に影響することはありません。

「≡」点滅：圏内に通話できる相手が居るか、検索しています。

「C」点灯：通話可能かどうか確認するための信号を送っています。

「≡」点灯：信号は強く良好な通話が可能。

「=」点灯：信号は普通、おおむね良好な通話が可能。

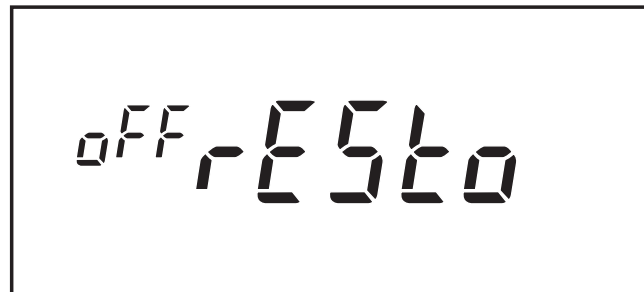
「_」点灯：通話が可能だが信号は弱く、途切れることがある。

「_」点滅：相手が離れているか電源が切られているなどで、通話できない。

注意 仕様上、メモリーモード中やディスプレイ表示 Freq 設定にすると動作しません。

● No.45 レストア*

チャンネル情報、メモリー情報、セットモード情報をリセットしても消えないように記憶させ、復元させる機能です。リセット後の面倒な設定やり直しをせずに済みます。初期値はオフです。



SAv : SAv を選択した画面で「FUNC」キーと「SET」キーを同時に約2秒間押し続けると全ての情報が保存され「rSt writE」を表示します。新しい設定を記憶するときはこの操作を繰り返せば上書きできます。

Lod : Lod を選択した画面で「FUNC」キーと「SET」キーを同時に約2秒間押し続けると保存した情報を復元します。復元が終わると「rSt rEAd」が表示され、自動的に再起動します。何も保存されていない場合、「rSt nodAtA」が表示され読み出しがキャンセルされます。

dEt : dEt を選択した画面で「FUNC」キーと「SET」キーを同時に約2秒間押し続けると記憶させた情報を消去します。終わると「rSt ErASE」が表示されます。完全に工場出荷状態まで戻す時は、消去してからリセット (P.29) してください。

注意 Bluetooth ペ어링情報は記憶、復元できません。

● No.46 モニターモード*

(交互通話・デュアルオペレーション専用)

待受で「▼」キーと「▲」キーを同時に押しすとディスプレイの「受」が表示され、スケルチを開放して「ザー」音が聞こえます。受信状態のチェックなど管理者向けの機能です。初期値はオフです。通常はオフのまま使用してください。



off/ on

5

イヤホンユーザー

■ 拡張セットモード – オプションPTT設定

事前に「セットモード基本操作」をお読みいただき、拡張セットモードをオンにしてください。イヤホンのみで運用する場合、拡張セットモード「オプションPTT設定」(P.45)をALLにすることで本体 PTT 有効 / 本体マイク が有効となります。



ALL in SPkt


- oFF : 本体 PTT 無効 / マイク 無効 (オプション PTT 有効 / マイク 有効)
- out : 本体 PTT 有効 / マイク 無効 (PTT両方 有効 / オプションマイク 有効)
- ALL : 本体 PTT 有効 / マイク 有効 (イヤホン接続時の設定)

- 仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
- 本書の説明用イラストは、実物とは状態や形状が異なる、一部の表示を省略している、等の場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10番19号サンエイビル4階 TEL.052-212-0541
大阪支店 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋4丁目4番9号淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号エコビル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイヤル  0120-464-007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。

受付時間／10:00～17:00 月曜～金曜（祝祭日及び12:00～13:00は除きます）




ホームページ <https://www.alinco.co.jp/> 「電子事業」をご覧ください。

Copyright Alinco, Inc. Printed in Japan.
FNFG-NK

◆◆◆ 安全上のご注意 ◆◆◆

安全上のご注意

- ◎ 本機を正しく安全にお使いいただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。使用者や周囲の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、**次の内容をよく理解してから本文をお読みください。**

 危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
 警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	この表示は「人が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

- * 重傷とは、けが、やけど、感電、骨折などの傷害で入院や長期通院をしたり、後遺症が残ったりするものを指します。
* 傷害とは、治療に入院や長期通院の必要がないやけど、けが、感電などを指します。
* 物的損害とは、家屋、財産、家畜及びペットなどにかかわる拡大損害を指します。

免責事項について

- 天災や人災及び弊社の責任以外の火災、本機の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とはことなる使用方法で本機を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
● 本機の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた純粋経済損害、また人命救助などを目的とした通信に本機を使用し通信の途絶、故障や誤動作、電池の消耗などにより人命に関わる事態が生じても弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
● 弊社が関与していない接続機器との組み合わせによる誤動作や、使用中の故障・電波環境などから通信や受信できなかったことで発生した逸失利益に対する責はご容赦ください。

■ 共通(本機/バッテリーパック/充電器/ACアダプター)

△危険

- ◎ 次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
- 指定以外の機器を充電しないでください。
 - 指定以外の充電器を使用しないでください。
 - 指定以外のACアダプターを接続しないでください。
- ◎ 引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。
爆発、火災、感電、故障の原因になります。本機は防爆仕様ではありません。
- ◎ 直射日光が当たる場所、空調機や火の近くなど、温度が高くなる場所には絶対におかないでください。
破裂、火災、故障の原因になります。真冬でも閉め切った車内や窓際は日光が当たると本機の表面はバッテリーパックの破裂につながる温度まで上昇します。
エアコン暖房程度の温風でも連続して当たっていると高温になります。
- ◎ 雷が鳴り出したら、屋外での使用時は直ちに屋内、車内など安全な場所に避難、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

△警告

- ◎ 分解、改造しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ 万一、発煙、異臭、異音などの異常がある場合は、使用しないでください。
継続してお使いになると、火災、感電、故障の原因になります。バッテリーパックや乾電池ケースを取外し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜き煙が出なくなったことを確認してから、お買い上げの販売店、または、弊社サービスセンターにご連絡ください。
- ◎ 小さいお子様やペットの手が届かない場所で使用、保管してください。
感電やけがの原因になります。
- ◎ 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電・やけど・けがの原因になります。

△注意

- ◎ ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）を絶対に使用しないでください。柔らかい綺麗な布で乾拭きをしてください。
ケースが損傷したり、文字が変質したり、塗装がはがれたりする恐れがあります。また、機器内部に洗剤などが浸透し故障の原因になることがあります。

■ 本機

△警告

- ◎ 医療や介護関連、または空港、鉄道、港湾、放送局、中継局など電波を使用する施設での使用については各施設管理者に事前に問い合わせ、承認を得てからご使用ください。
電波障害による機器の誤動作が重大な事故や妨害の原因となります。
- ◎ 運転中に本機を手を持って操作しないでください。
このような行為は運転中の携帯電話使用と同様に罰せられます。

- ◎ 本機を振り回したり、投げたりしないでください。
部品が外れて人や壁などに当たり、けがや故障、破損の原因になります。
- ◎ 大きな音量でイヤホンやイヤホンマイクなどを使用しないでください。
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。

△注意

- ◎ 付属品および、弊社指定のオプション品以外を使用しないでください。
故障や感電など事故の原因になります。
- ◎ 指定以外の温度範囲で使用しないでください。
記載の温度範囲以外でのご使用は故障、動作不良、発熱発火の原因になります。
- ◎ バッテリーパック、乾電池ケース、充電器の端子に半田付けをしたり、端子間を金属類で接続しないでください。
火災、発熱、感電、けが、故障の原因となります。

■ 充電器

△警告

- ◎ 次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
- 充電器に水を入れたり、濡らしたりしないでください。また水に濡れたときは使用しないでください。
 - 濡れた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
 - 充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。

△注意

- ◎ 次の事項を守らないと、火災、液漏れ、発熱、感電、故障の原因になります。
- 10℃～+40℃以外の環境で充電しないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
 - 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。
 - 指定以外の電圧で使用しないでください。

■ ACアダプター

△警告

- ◎ 濡れた手で絶対にACアダプターに触れないでください。
感電の原因になります。
- ◎ アダプターや接続ケーブルに傷がある場合や、ACコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
火災、感電、故障、破損の原因となります。
- ◎ 次の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因となります。
- コードの上に重いものを載せないでください。

- ◎ 次の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因となります。

- ホコリがたまる場所にあるコンセントに接続しないでください。
(トラッキングと呼ばれる現象で発火することがあり、大変危険です。)
- アダプターを抜き差しするときは、電源コード（以下コード）を引っ張らないでください。
- コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
- 水などの濡れやすい場所では使用しないでください。
- アダプターをタコ足配線して使用しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所では使用しないでください。

■ バッテリーパック

△危険

- ◎ 火や空調機の近く、直射日光の当たる車内や窓際など、高温になる場所での使用、充電、放置は絶対にしないでください。
バッテリーパックの性能や寿命が低下、保護回路が動作して充電できなくなったり、保護回路が破損したりして破裂、発煙、発火や火災、液漏れ、やけどの原因になります。真冬でも閉め切った場所で温風や直射日光が当たると危険な温度まで上昇します。
- ◎ コンクリートなどの固い床に落としたり、強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用を続けると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ◎ 次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液漏れ、感電、やけどの原因になります。
- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
 - 液体につけたり、濡らしたりしないでください。
 - 膨れてきたら使用をやめ、ただちに本機から外して電池回収ボックスに廃棄してください。
 - バッテリーパックの端子に半田付けしないでください。
 - バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
 - 金属類（針金、ネックレス、鍵など）や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックと一緒に持ち運んだりしないでください。
 - バッテリーパックから漏れ出した液が目に入ったときは、失明の恐れがあるので絶対にこすらないでください。すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。

△警告

- ◎ 使用中や充電中にいつもより発熱を感じたときは、使用を中止してください。
使用を続けるとバッテリーパックの破裂、発熱、液漏れ、故障の原因になります。
電池回収ボックスに廃棄してください。

警告

- 使用時間が短くなったとき、長時間使い続けたときはバッテリーパックを交換してください。
3年を目安に長くても5年までに交換が必要です。使用を続けると発火や発煙の原因となります。

注意

- 次の注意事項を守らないと、破裂、発熱、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。
 - バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長時間放置しないでください。長時間バッテリーパックを保管する場合は、バッテリーパックを完全に使い切ってから、満充電の目安時間の半分程度充電してください。
 - 本機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。
 - 保管するときは必ずバッテリーパックを本機から外してください。装着したままだと過放電して充電できなくなります。

バッテリーパックの特性と寿命について

- バッテリーパックは消耗品です。充電回数は300回～500回が目安です。充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱している、膨れたなどバッテリーパックに異常があると思われるときは、使用を中止してください。
- 使用せずに保管している状態でも、劣化が進行します。劣化がはじまると、満充電状態からでも運用時間が短くなります。
- 劣化したバッテリーパックは発火や火災の原因となることがありますので、使用しないでください。弊社では3年を目安に、長くても5年でお買い換えをお勧めしています。

使用後はリサイクルへ

- 本機は、充電式電池使用機器です。希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人JBRCのホームページでご確認ください。
JBRC ホームページ <https://www.jbrc.com/>

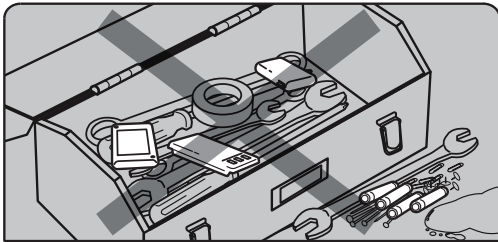
電磁ノイズ

インバーター回路を内蔵している電子機器およびハイブリッドカー、電気自動車の車内や周辺では電磁ノイズの影響を受けて、正常に動作できないことがあります。

- LED照明機器 ● 電磁調理器 ● 給湯器 ● 自動車の電子機器
- 太陽光発電装置

電池類の持ち運びについて

乾電池やバッテリーパックを持ち運ぶときは、以下のことにご注意ください。端子をショートさせると大電流が流れて火災、やけどの原因になります。1.5Vの単三形乾電池ですら数分程度で、約90℃以上の温度になるので十分な注意が必要です。



- 金属製のもの（ネックレス、プレスレット、キー…）が入ったバッグや金属製のケース（工具箱…）などに直接入れないでください。
- 雨や雪、波しぶきなどが直接かかるような状態では持ち運ばないでください。真水や塩水は電気を通します。
- 電池を持ち運んだり保管する場合は、必ず1個ずつビニール袋にいれたり布で包むなどしてショートしないようにしてください。
- 長期間使用しない場合は電池を無線機から外して、直射日光が当たらない、できるだけ湿度の低い冷暗所で同様の配慮をしたうえで保管してください。補充については別途充電器の項目でご説明しています。
- 廃棄のため電池類を保管する場合は必ず端子部分にセロテープを貼るなどしてショートしないようにしてください。

アフターサービス

- 保証と保証書
修理やメンテナンスなど、保証の詳細は販売店とおお客様の間の契約が優先されますので 購入時によくご確認ください。弊社の製品保証の内容は弊社発行の保証書に記載されています。保証書には購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）と、記載の製造番号に間違いがないかをお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類と一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。
- 保証期間が過ぎたら
お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償で修理いたします。

アフターサービスや製品に関するよくあるご質問は「アルインコ 電子FAQ」をキーワードにネット検索してください。ご不明な点がありましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。

製造終了製品に対する保守年限に関して

弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし、不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後5年です

注意事項

- 改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、技術基準適合から外れるため、修理をお断りすることがあります。また内部の部品は販売しておりません。
- 修理見積りや保険用の証明書の発行は、一部有償です。
- 本機には明確に定められた製品寿命はありません。
- 樹脂成型時に細いラインが入ることがありますが、異常ではありません。
- 印字について美観上の問題が無い範囲でわずかなムラがあります。
- 使用条件によって端子部が変色することがありますが、異常ではありません。
- 汚れはときどき乾いた清潔な綿棒で拭って清掃してください。
- 静電気が溜まりやすい場所や服装で別売のイヤホン装着するとき、耳に静電気ショックを感じる場合があります。ドアノブなどに触れて感じるようなショックと同じで、漏電のような異常ではありません。
- 本体背面に貼られている黒く丸いシールをはがしたり、別のラベルで覆ったりしないでください。防水性能を維持できなくなったりします。
- 付属品、および弊社指定のオプション品以外のアクセサリを接続して使用すると故障や動作不良の原因になることがあります。他社製品をお使いになっての不具合は保証期間に関わらず、製品保証の対象外です。他社製品を本機に使うための改造サービスは有償、無償にかかわらず行っておりません。
- 本機を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用しないでください。事前の個別契約が無い限り、誤動作、不具合や損害が生じても一切の責任は負いかねます。
- 乾電池は推奨使用期限内にお使いください。古い電池は性能の低下、内部素材の劣化による液漏れの原因になります。使用期限は「月－2桁」または「月－西暦年号」の順で、本体またはパッケージに表示されています。例：01－23、01－2023は2023年1月を表します。
- 別売の乾電池ケースをお使いになるときは、信頼できる品質のアルカリ乾電池をお使いください。マンガン乾電池、ニッケル水素充電電池や低品質の電池は運用時間が短くなり、動作不良の原因になります。リチウム乾電池は初期電圧が高いため故障の原因となります。絶対にお使いにならないでください。

- 廃棄の方法は一般家電製品と同等です。普通のゴミと一緒に捨てないでください。環境破壊の原因となります。

電波法

- 本機は電波法に基づいて、技術基準適合証明（工事設計認証）を受けた製品で、右記の「適マーク」が印字されています。分解しないでください。改造して使うと罰せられます。
- 本機に貼付されたラベル類は重要です。次のことにご注意ください。
 - 機種名、数字や記号が書かれたラベル類は一切絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。技術適合の基準から外れ、違法機器とみなされることがあります。
 - ラベル類が隠れるように他のシールやステッカーが貼り付けられていたら、修理の際に弊社サービスセンターで破棄させていただきます。ラベル類の印字が薄れてきた場合はお買い上げいただいた販売店が弊社サービスセンターにご相談ください。
 - ラベル類が意図的に手を加えられていると判断した場合、修理をお断りすることがございます。不法無線局開設の補助に該当するためです。ご了承ください。
- 他人の通信を妨害したり、通話の内容を無断で漏らしたり、勝手に利用したりすることは電波法で禁じられていて、違反すると罰せられます。
- 使用できるのは、日本国内に限られています。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本機を使用しないでください。電磁妨害により機器が誤作動すると、人命にかかわります。

外郭保護性能

本機は設計段階で外郭保護等級 IP67 規格の耐塵防浸試験に合格しており、適合するアクセサリ、バッテリーパックを正しく装着するなど指定の条件を満たしていれば、水周りやホコリっぽい環境の中でお使いになっても故障しにくい構造になっています。ただし耐塵、防浸試験には条件があり、完全な保護を保証するものではありません。本機、バッテリーパックは装着しないと防水にはなりません。単体で濡れたり、汚れたりすると故障の原因になります。流水洗浄や条件を超える水没などは故障の原因になります。金属性、油性、酸や塩分・化学物質を含むなど、特殊な粉塵や液体、気体が製品に使われている素材や部品に付着すると腐食、劣化や故障の原因になりますが、保証の対象外となります。保護に使われているカバーやシールドの素材は経年劣化のため変質し、保護性能が低下します。弊社の外郭保護性能保証は製品の保証期間と同じです。保護が重要な場合は有償でメンテナンスを承ります。販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。外郭保護性能に有無にかかわらず汚れたり濡れたりしたときは、すぐに汚れを落としてから乾いた布で拭くなどのメンテナンスを心がけていただくと長く正常な状態でお使いいただけます。